

御厨子黒桐之奉

和装本

7邊3

1511

1



御厨子黒棚之事

邊
1.811
1

723
1311

御厨子黒柳八重

一 御厨子黒柳の銘とて飾りて云

御厨子柳と云々御厨子有て内侍女のもち尊
式いさげと入置て誕生の時暮自の的まうて紙
とて納て出と仲と勸請のあや御厨子柳と云
た右ふ鹿とと駒大と昼との上柳ふ銘と柳ふ
かとと傍より中前の心こ日記神と云々清と
此の御厨子柳と香具と置と

一 黒柳と云々黒齒柳と云々仮粧道具と云々
中右の銘と鹿と駒大黒と云々御厨子の記



明治三十二年九月
小森次氏贈

入の夜ふり

一 貝欄を六角八角四所よりつくし紙を貼る舊通
北井と繪し書し是古物とすは黒塗舟利子此
布漆を塗きしものなり

西行の奇よ

今もまろ二見八海色蛤と云ふ名もいふもの
伊賀の國三見の海へ今も来る蛤と云ふもの
古より執別は蛤の名物と

御厨子道具通夏

一 手箱 一 大短冊箱 一 小短冊箱

大支箱

一 小支箱

水引箱

らん

一 硯箱

料紙箱

料紙

一 薄紙箱

支願文と云ふ

香舟

一 火舟香舟

たさのり入

香匙

一 香箱

香盒

香匙火着

一 舟の火

廟と云ふ

瓦切

一 守本尊

札守紙

羊か

一 珍のり

油の物

奇書

一 たん

文基

封力

一 筆すじ

筆添 筆すじのり

沉別道具

黒棚道具の支

- 拂箱 一 角赤赤
- 黒蓋くろがし 一 拂箱
- 乱箱 一 折拂
- 乱らんの箱 一 水みづの箱
- 昆布箱 一 三さんのさん
- ちんちんの箱 一 香炉箱
- ちんちんの箱 一 句枕
- ちんちんの箱 一 鏡臺
- 鬚ひげのひげ 一 鬚ひげのひげ
- 眉作箱 一 眉作箱
- 和わのわのわ 一 和わのわのわ
- 水みづのみづのみづ 一 水みづのみづのみづ
- 香盆道具 一 香盆道具
- 軸の物 一 軸の物
- のののののの 一 のののののの

文箱

一句箱

一 句くのく

火敷

手箱てびらと云い半はんのの蓋がしと云い子こ香かのの二に句く入い
 下に色いろのの小こ鏡かみと云い十二じふにのの物もの敷しきのの
 十二じふにのの手箱てびらと云い女に中ちゆうけけのの中ちゆうのの道具どうぐと云い
 香炉かうろ蓋がしと云い香かと云い香か起おこ火ひ者もの灰はいと云い燈とう籠かごと云い
 火ひ者ものと云い火ひ者ものと云い火ひ者ものと云い火ひ者ものと云い火ひ者ものと云い
 箱はこ炭すす團だん箱はこ行ぎやう儀ぎ香か合がひのの時ときのの香か盆ぼん道具どうぐと云い
 團だん香か那な善ぜん磁じ漆しのの火ひと云い團だん火ひと云い香か炉ろと云い
 火ひと云い火ひと云い火ひと云い火ひと云い火ひと云い火ひと云い

たうと云ふは、小袖又は髪をさすの匂と云ふは、香が
いそ人あふおれよめ

一 御厨子棚の香具置心は、彼香又はや、焚のさう

ある魚一黒棚に置、髪を舐る香、心はく

香道具色く、御厨子、鉢、つ、い、も、盆、く、さ、る、く

油、お、い、長、盆、は、二、を、傍、り、く、盆、を、く、い、越、切、色、は

け、い、ら、も、よ

一 沉香、く、ま、古、法、の、調、く、今、は、伽、羅、と、入、く、く、け

く、小、箱、六、つ、有、り、下、は、香、色、の、中、は、火、袋、香、着

香、解、け、り

一 御厨子棚、く、黒、棚、は、沉香、と、山、同、飾、更、名、香

を、く、有、時、の、銘、と、知、り、通、御、厨、子、は、沉香、銘、で

又、遠、棚、は、銘、と、く、口、傳、同、更、名

一 緋、箱、は、長、く、丸、陽、は、比、し、御、厨、子、は、銘、と、成、り、

四、方、ら、地、の、敷、落、は、比、し、黒、棚、は、銘、と、云、傳、り、有

一 硯、箱、御、厨、子、の、道、具、は、れ、く、不、遠、た、り、耐、是、棚

く、も、有、魚、一

一 文、箱、は、赤、く、大、文、箱、は、壁、文、と、小、文、箱、は、折、文

は、入、り、

一 拂、箱、は、拂、の、道、具、と、入、り、か、け、る、拂、袋、大、小、入、り

一 大角赤に仕粧具と入小角赤より番具と入ル
ケル者より角赤黒柳は飾と又赤より目
角赤は主婦の下帯やうく交申ふのれ入又
色束の日に里白小袖白草物ふとと大角赤入
局方よりきいたも別もにけり

一 黒齒箱三まご上のまごの舟を傷後下下のまご
撞くはほりこを入
をりしはせ方中成るうはと身て口と拭魚にたり
やうしはも用也
一 薄は身の子成りてと色く小保て昔一を

文と調之春青に紙よ下繪有夏は赤秋は赤
冬は赤思ふ所の成り行と叶の繪と赤紅の成り
りしこりてとよ引合は付申相成り
封り一方ハ錐一方ハ又文況のわらり紙の上も並
棉箱三三ッ棉十二具入天子の巾着はと地
下十一具はら二十枚の小教に下も諸儀大ま
此に士九具ハ八具は棉箱のけら女の造り
けこの中よ齒教此に教はら棉と入る齒教
二十枚有棉ハ八枚と叶思是とこりてと
古例也

一 五重紙箱を沉箱の垢合の... 五重紙の川合紙
おて企て畧紙の松原又は紫紙や... 紙を用ひ
川合と云ふ古くは陸奥の紙は玉章平と書ふ男女の
媒とて川合と云ふは...

一 昆布箱昆布箱の形ありの川合と云ふは... 置きかへておては...

一 毛氈箱毛氈箱の形ありの利カ箱と女の... 乱箱の... 枕を... 枕を... 枕を...

一 眉箱眉箱の形ありの重くやう蓋と蓋の... 眉箱の重くやう蓋と蓋の... 眉箱の重くやう蓋と蓋の...

世の眉の道具の残入を

一 奇掛馬奇掛馬の形あり一尺程長サ一尺二寸差海元程のけこ

一 布の蓋の上より入るやうにしら... 縫う... 内は
線と蓋申は紙箱とも云ふ... の通く... 又蓋は
白の箱は手箱の大サ... 中... 掛... 蓋は
下... 板と... 板... 香具... 組
分入るあり

一 料紙料紙の形ありの紙... 杉原川合紙と
合ふ... 又... 大中高... 川合紙と
又東一本小用紙は川合紙と云ふ

くろゆい

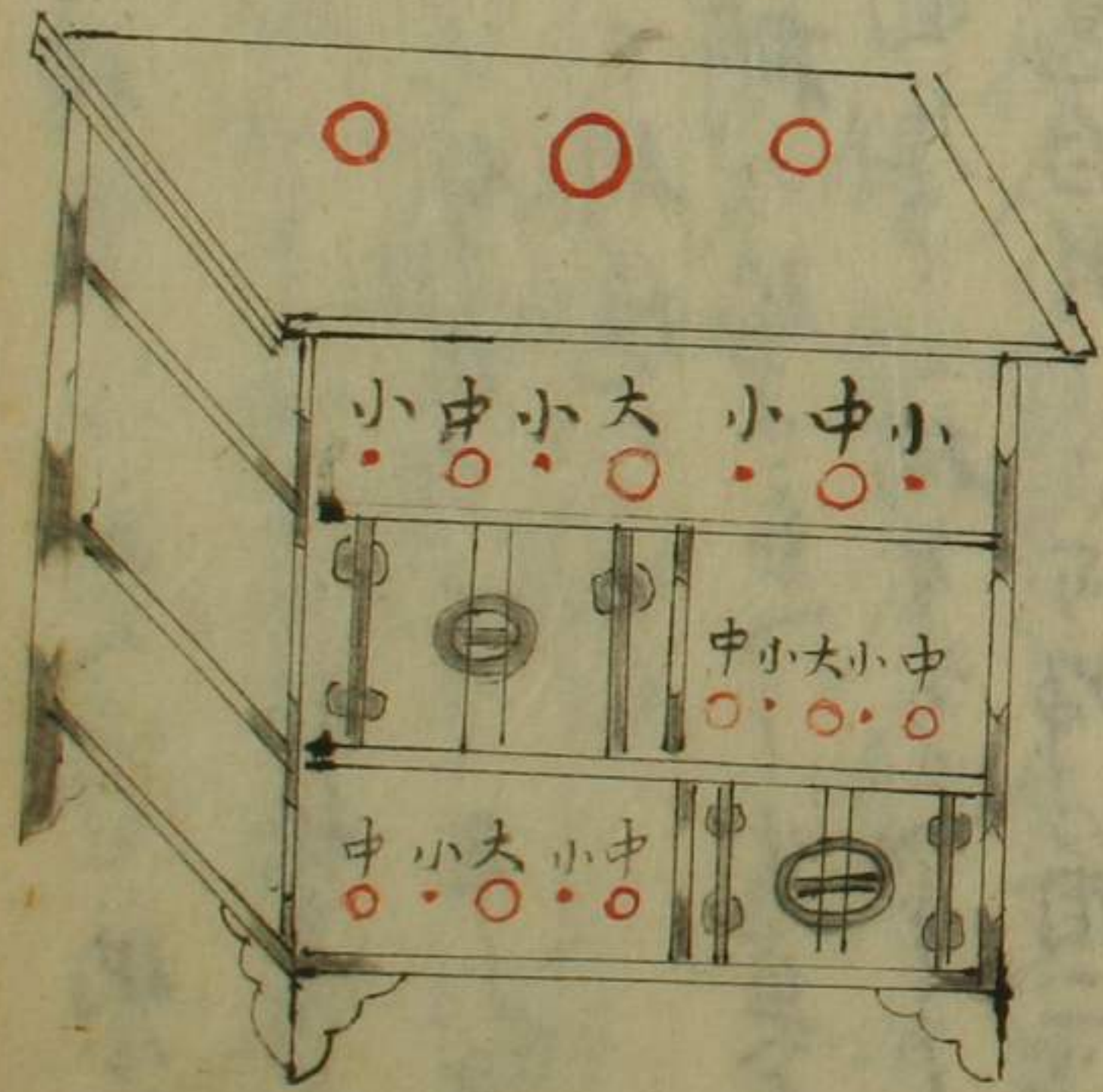
一 紅の房中... 金銀赤黄... の紙ハ牧...
方後... 赤... 紙... と云

一 御厨子の道具黒棚... 庄... 若... 黒棚の道...
御厨子... 借... 本... 流... 自... 枕... 借... 交... 行... 置... 合...
留... あり

一 御厨子黒棚と借... 棚割の借... 授... 有... 是... と云... 手... 如...
人の借... を... 式... 合... 式... 合... と云... の... 合... 合... と云...
う... 人... 棚... と... 中... と云... と云... 二... 割... 是... と... 大... 割... と云... 大... 割...
と... 割... の... 中... と云... と云... 中... 割... と云... 中... 割... と云... 中... 割... と云... 中... 割... と云...

と云... 別... 具... 右... 道具... 右... 所... 有... 右...
見... 合... 方... 借... 一... 一... 少... 借... 小... 割... と云... 心... け... 一...

中割 大割 中割



一 鏡の夏は天照大神宮より神身と心と侍り
しく外と調善悪とも心とあはれ其まふふ
悪まふふをさるゝの林之友悪まふふ世れ守と
成之内待所と申と別鏡のまふ

一 鏡臺のまふ黒棚の脇まふ一小の具書は
上のまふまふ二面丸く三柄まふ四下一のま
小白粉箱一對白粉包二白粉三まふ四箱二由柄
柄まふ一まふ二毛板三まふ四并二眉まふ三箱一口
小血撞二入一鏡臺一寸は九寸四方二寸五分
西三寸四尺五寸六程七寸八寸九寸一〇寸一一寸一二寸一三寸一四寸一五寸一六寸一七寸一八寸一九寸二〇寸二一寸二二寸二三寸二四寸二五寸二六寸二七寸二八寸二九寸三〇寸三一寸三二寸三三寸三四寸三五寸三六寸三七寸三八寸三九寸四〇寸四一寸四二寸四三寸四四寸四五寸四六寸四七寸四八寸四九寸五〇寸五一寸五二寸五三寸五四寸五五寸五六寸五七寸五八寸五九寸六〇寸六一寸六二寸六三寸六四寸六五寸六六寸六七寸六八寸六九寸七〇寸七一寸七二寸七三寸七四寸七五寸七六寸七七寸七八寸七九寸八〇寸八一寸八二寸八三寸八四寸八五寸八六寸八七寸八八寸八九寸九〇寸九一寸九二寸九三寸九四寸九五寸九六寸九七寸九八寸九九寸一〇〇寸

一 女房の手具一と云々手箱二拂箱三黒齒
箱四鏡五之六拂七箱八箱九髪一〇箱一一箱一二箱一三箱一四箱一五箱一六箱一七箱一八箱一九箱二〇箱二一箱二二箱二三箱二四箱二五箱二六箱二七箱二八箱二九箱三〇箱三一箱三二箱三三箱三四箱三五箱三六箱三七箱三八箱三九箱四〇箱四一箱四二箱四三箱四四箱四五箱四六箱四七箱四八箱四九箱五〇箱五一箱五二箱五三箱五四箱五五箱五六箱五七箱五八箱五九箱六〇箱六一箱六二箱六三箱六四箱六五箱六六箱六七箱六八箱六九箱七〇箱七一箱七二箱七三箱七四箱七五箱七六箱七七箱七八箱七九箱八〇箱八一箱八二箱八三箱八四箱八五箱八六箱八七箱八八箱八九箱九〇箱九一箱九二箱九三箱九四箱九五箱九六箱九七箱九八箱九九箱一〇〇箱

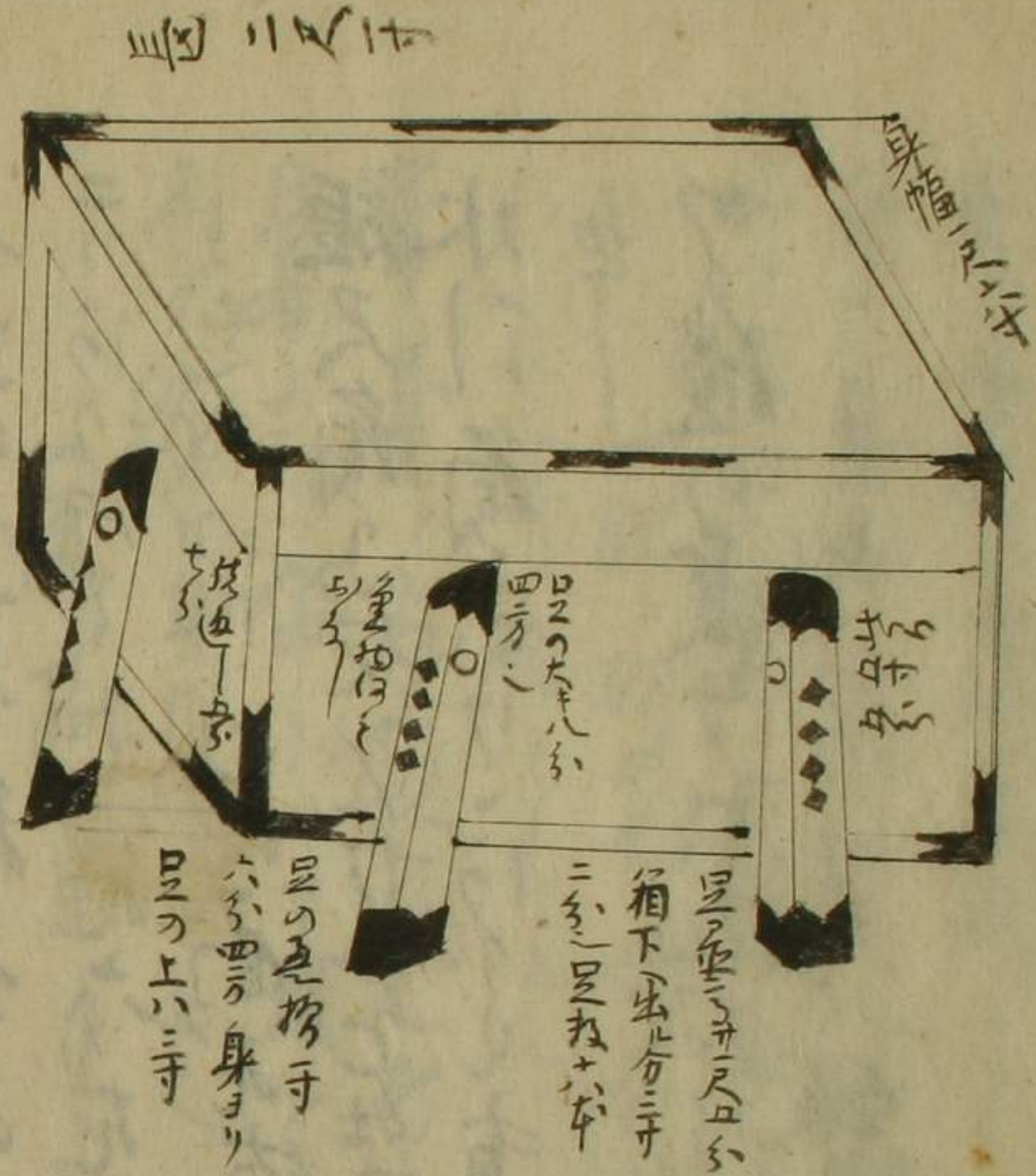
一 中尉一之二む三と云々四玉五瓶六之七む八と云々九十一〇程一一者一二の
道具一三の一四借一五と云々一六の一七机一八の一九と云々
鏡二〇臺二一小二二紅二三巾二四と云々二五の二六鏡二七臺二八と云々二九の三〇鏡三一臺三二と云々三三の三四鏡三五臺三六と云々三七の三八鏡三九臺四〇と云々四一の四二鏡四三臺四四と云々四五の四六鏡四七臺四八と云々四九の五〇鏡五一臺五二と云々五三の五四鏡五五臺五六と云々五七の五八鏡五九臺六〇と云々六一の六二鏡六三臺六四と云々六五の六六鏡六七臺六八と云々六九の七〇鏡七一臺七二と云々七三の七四鏡七五臺七六と云々七七の七八鏡七九臺八〇と云々八一の八二鏡八三臺八四と云々八五の八六鏡八七臺八八と云々八九の九〇鏡九一臺九二と云々九三の九四鏡九五臺九六と云々九七の九八鏡九九臺一〇〇と云々

一 行二角の袖と合ふもの古の小袖とこれ又存す
 跡をいふものもあつたに似たり又馬より
 燻の時に多せりるに例有又作内ふに
 合と巾衣櫃と云々つとて廣蓋と云て小袖と云て
 扱ふ所小比下もは純圓の衣服とも云ふは
 巾衣櫃と云ふるを格へ其蓋は建物をと云へ
 云ふなりと古例に連垂つけたり小蓋と云ふ
 云ふなりと古例に連垂つけたり小蓋と云ふ
 臺のつけたり外に臺内にふに廣蓋と用ひ
 野傾きと云ふ信長公の進物献せ
 所あり時初らひけり一の臺と有る

其以前に臺の出法外

一 小蓋と云物にり長サ七寸五分横七寸五分仕三六廣
 蓋と目交りぬる色紙經冊香具白紙をとり入る
 大内と取ぬるえ素硬角の蓋と寸法はとらと大さ
 文臺のより弁式に連分杯の今の懐紙を切
 認れそのと女房方からりもの物を文臺は清々
 自托人の布ととあて式に物の本ありと長六寸
 横長サ三尺八寸五分幅二尺三寸幅三寸五分又
 二寸五分と板の厚サ四寸五分通にり是れを花り
 込左右よりと折一ツ方とと一脚とも一併と云ふ

身高一尺蓋三寸五分打も



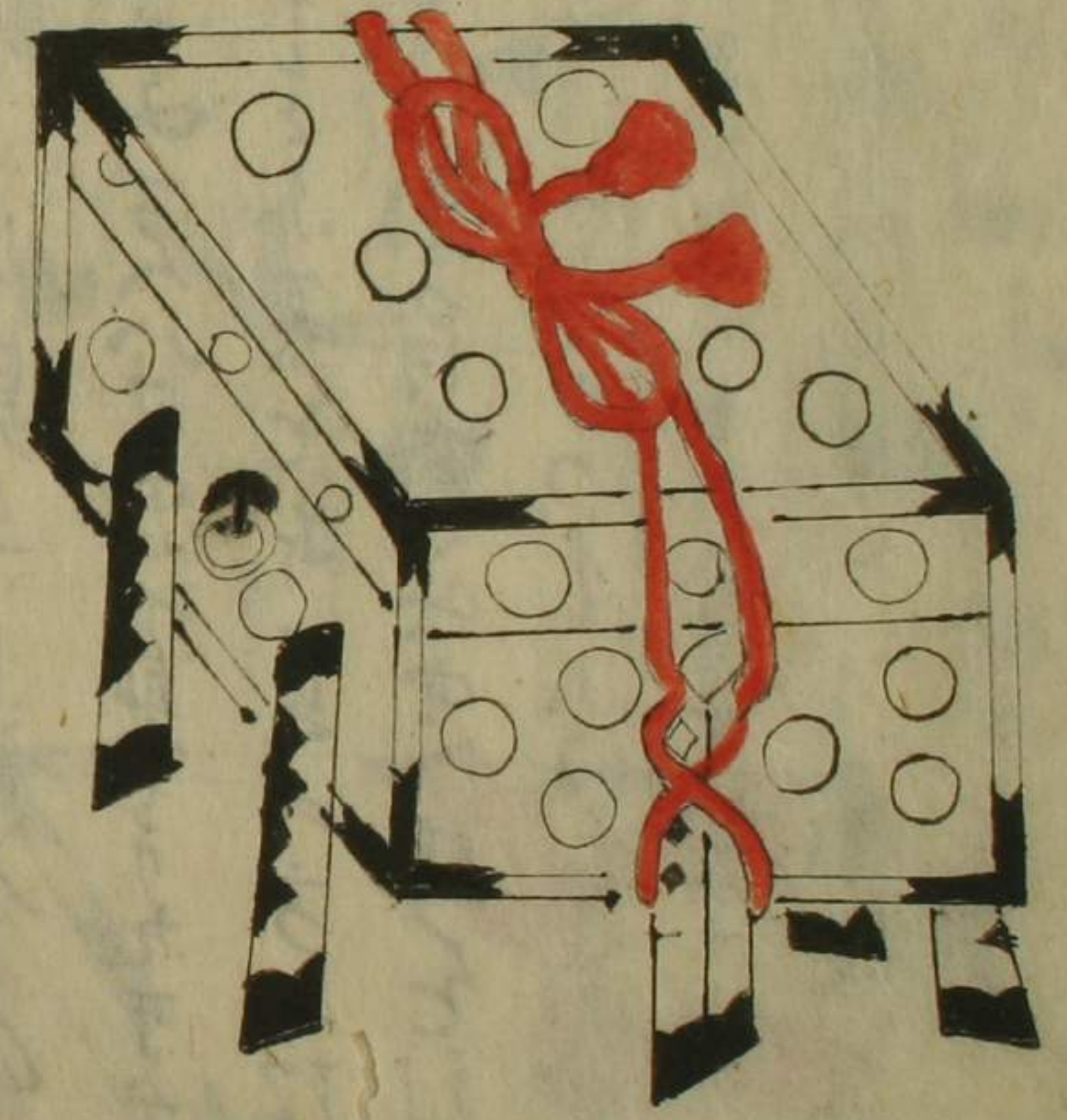
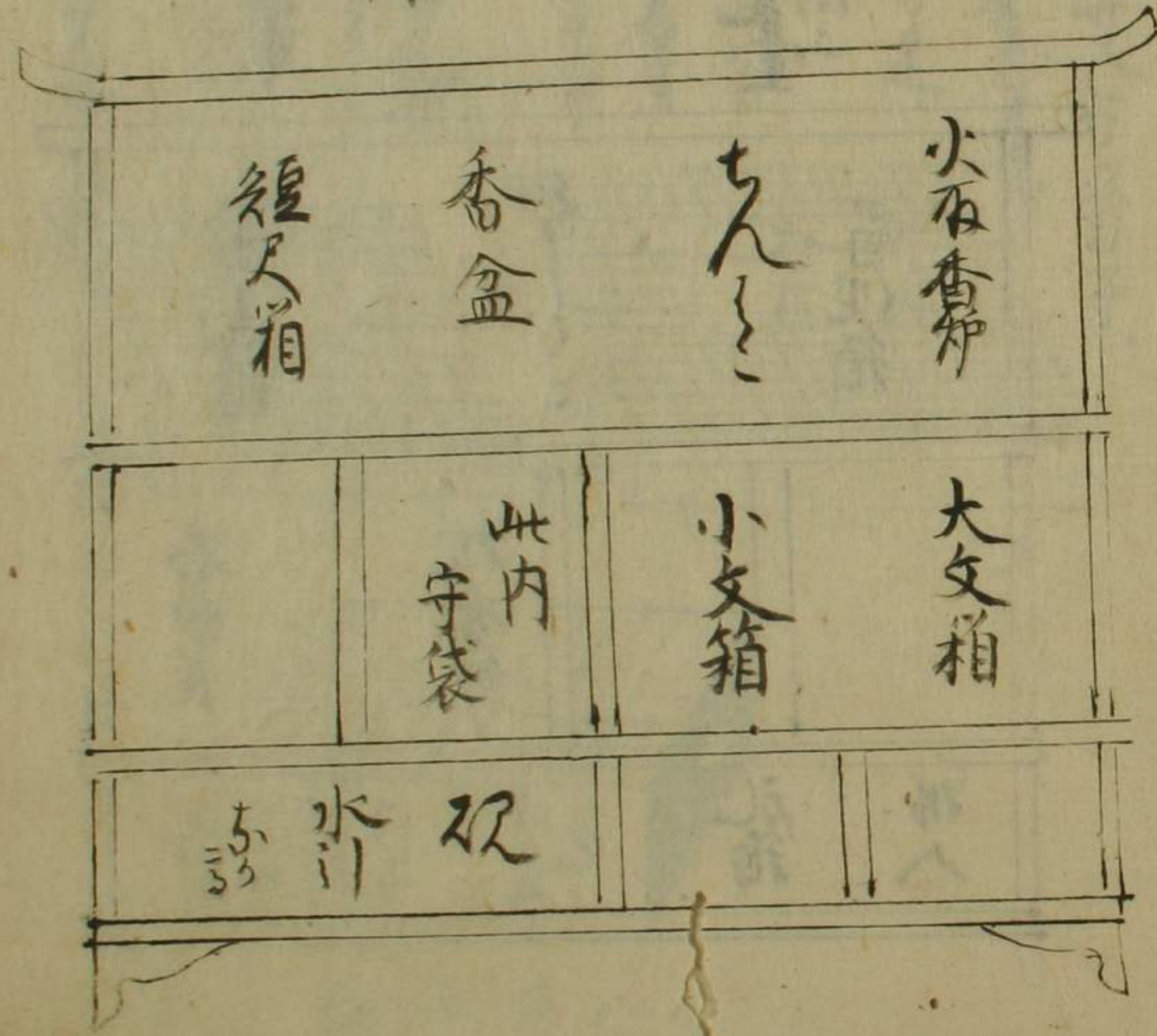
緒長一丈二尺余房の外

一
右梨子地前繪又黒塗小灰紋白り紅ハ組もたん
らま〜 今ハ備具ニツもに合ふり〜
高寸一尺の蓋一尺八寸四方身ヨリ九寸五分ハ外紐
足ニ一本とふ兼と赤一豆の方の箱ヨリ五分後
より穴とわら角子同前之穴ハ此と引通する座
法と紐通しハ此と一色のも小同前之又長サ一尺九寸
横一尺七寸五分身の寸ハ寸蓋二寸五分とす
梨子地前繪又黒塗小〜 灰紋と同一又
唐櫃司前之由た人も掛あふ

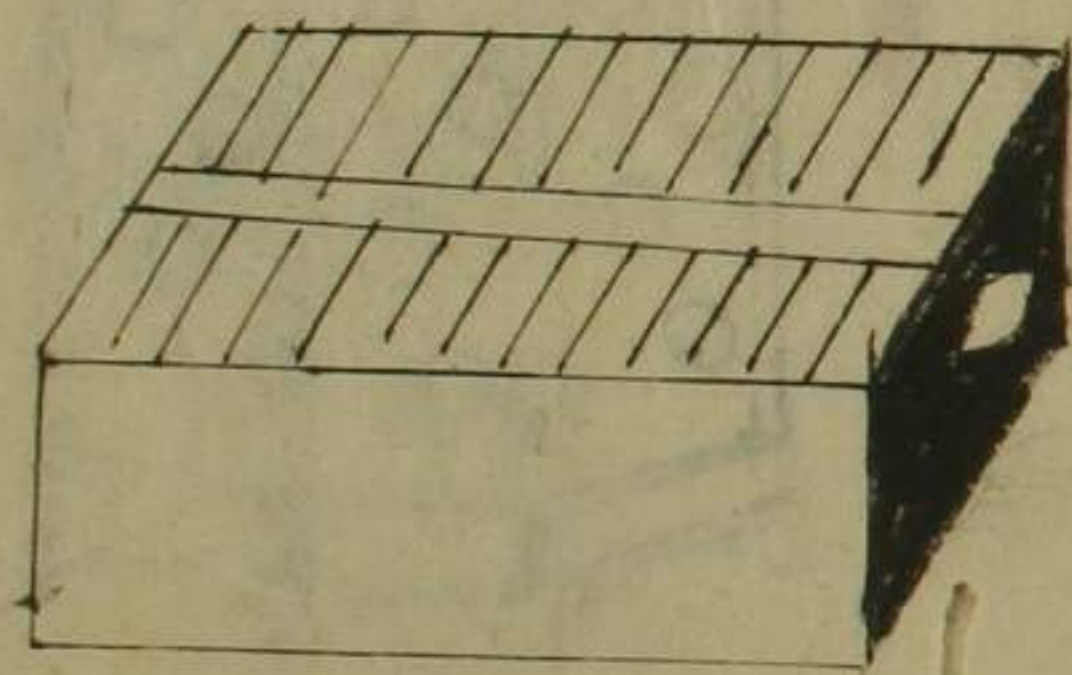
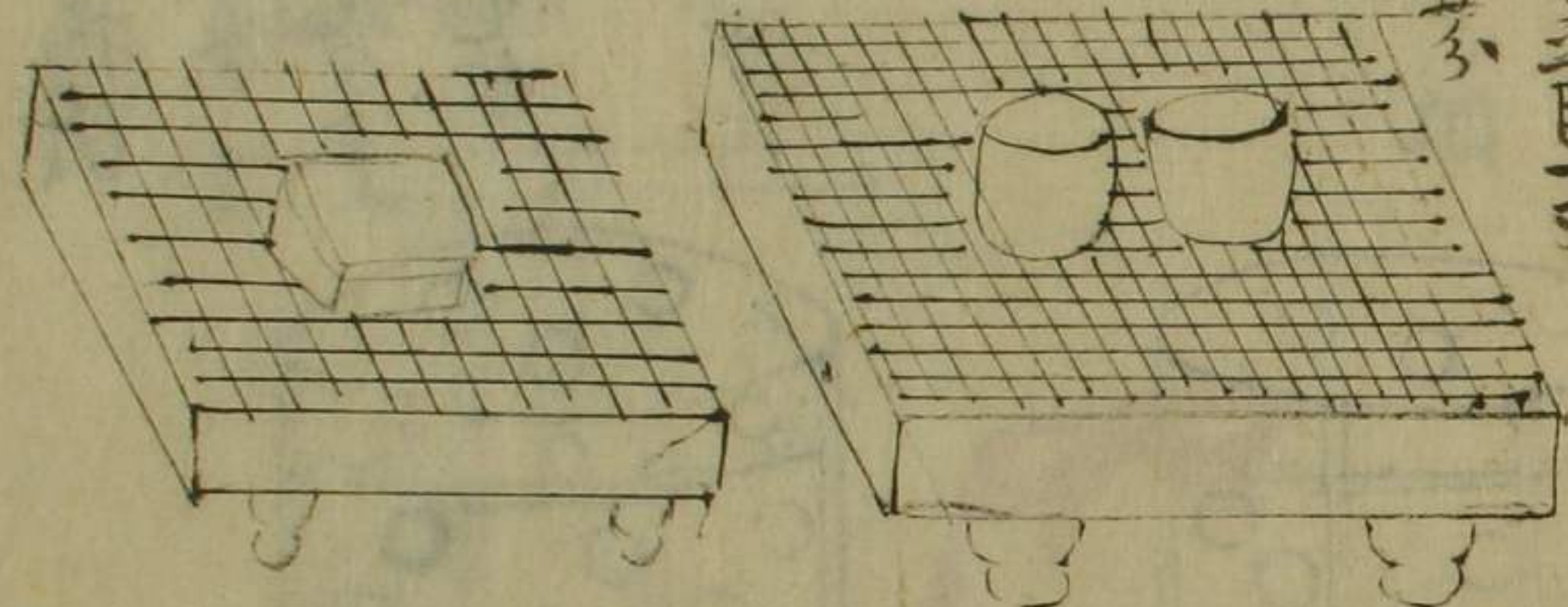
近衛殿
御流

上手箱

上手箱



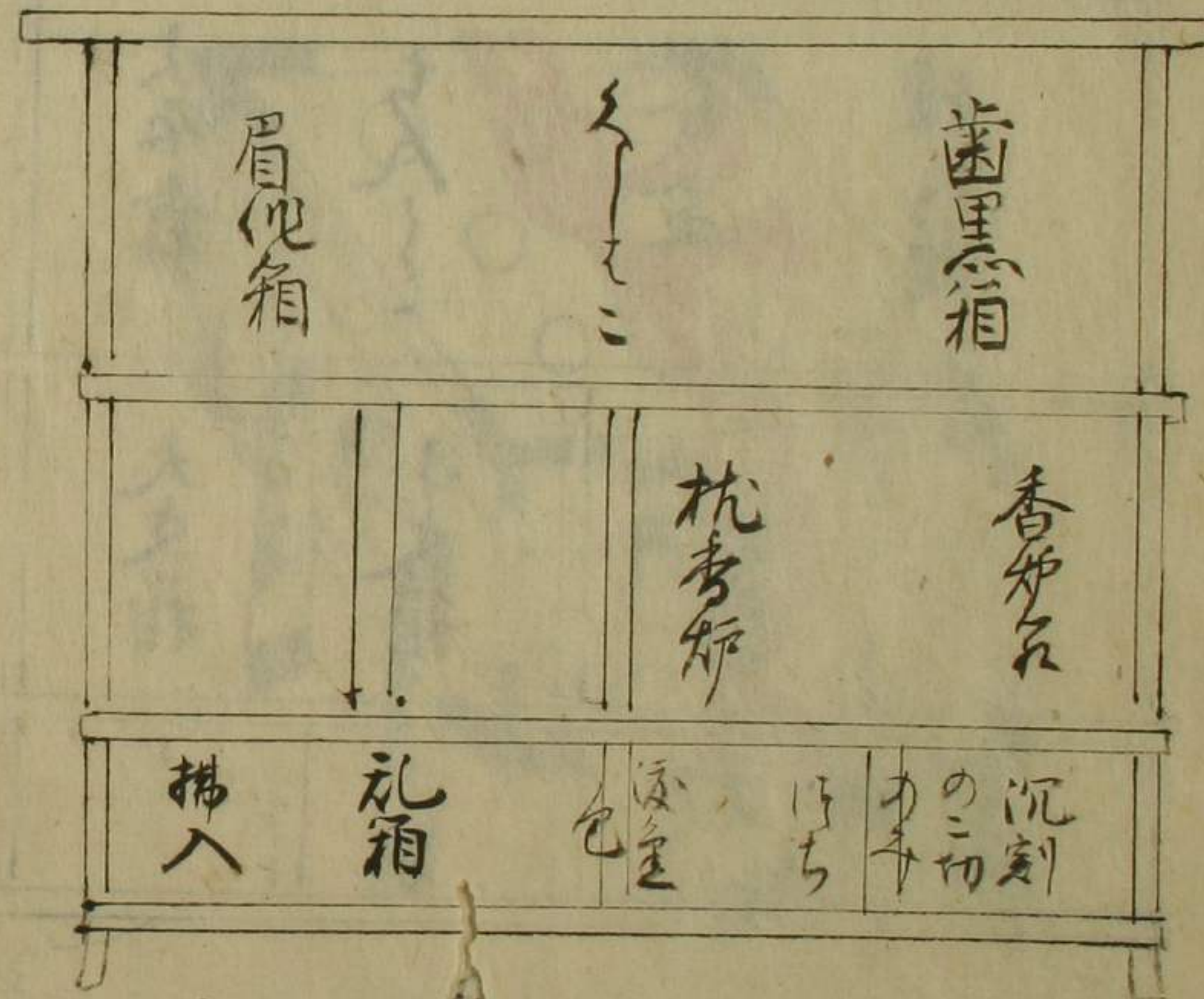
寸法更寺八分三目寸
 横目八分厚四寸五分
 目三寸五分是六
 禁裏ノ法ニ
 地下ハ三目八分
 横目七分厚寸
 厚二分目三寸五分
 長廿一尺寸九分
 横一尺九分
 厚寸二分五分
 目八十一
 寸二分寸五分



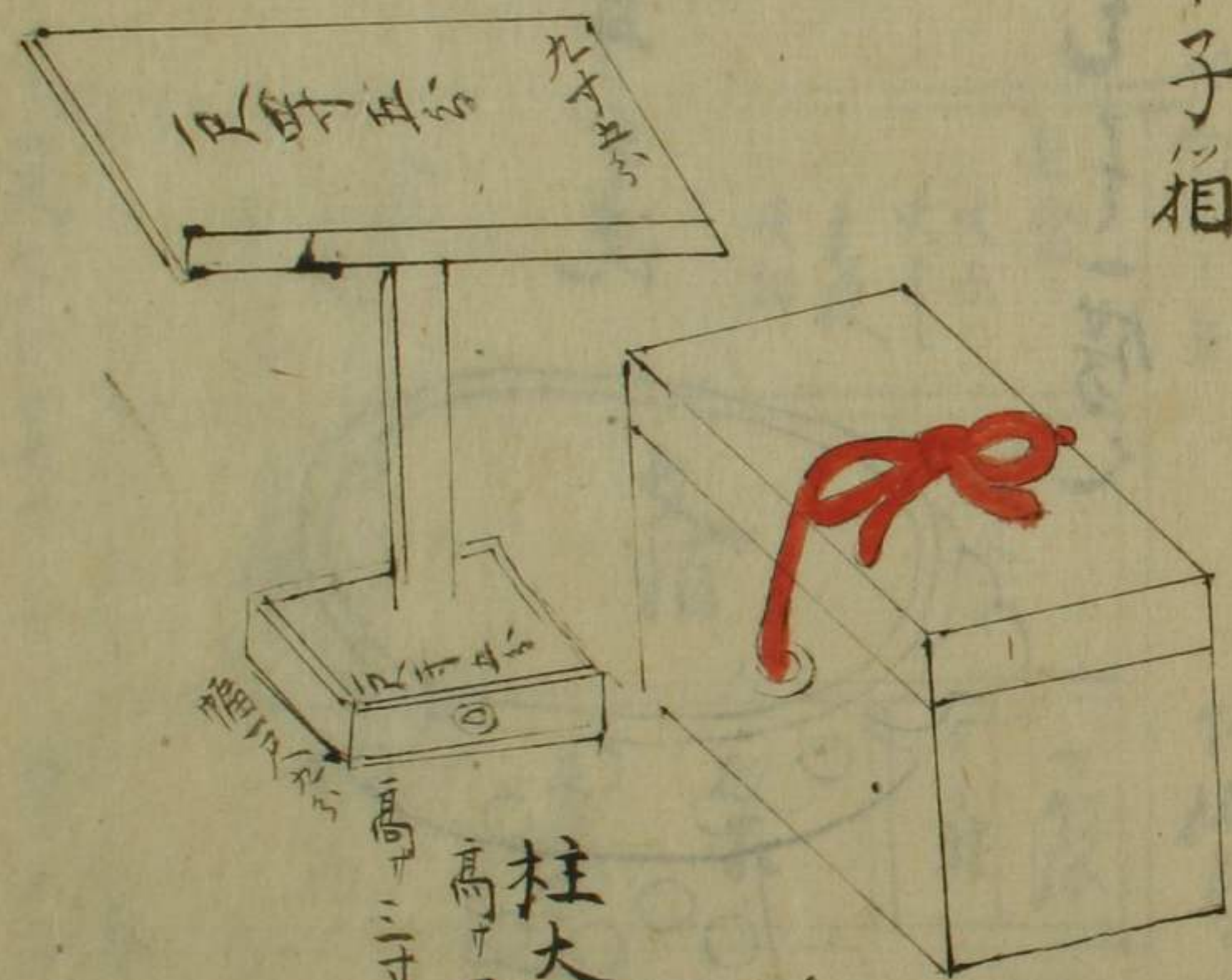
寸法更寺八分三目寸
 横目八分厚四寸五分
 目三寸五分是六
 禁裏ノ法ニ
 地下ハ三目八分
 横目七分厚寸
 厚二分目三寸五分
 長廿一尺寸九分
 横一尺九分
 厚寸二分五分
 目八十一
 寸二分寸五分

上
 角赤

旅
 鏡臺

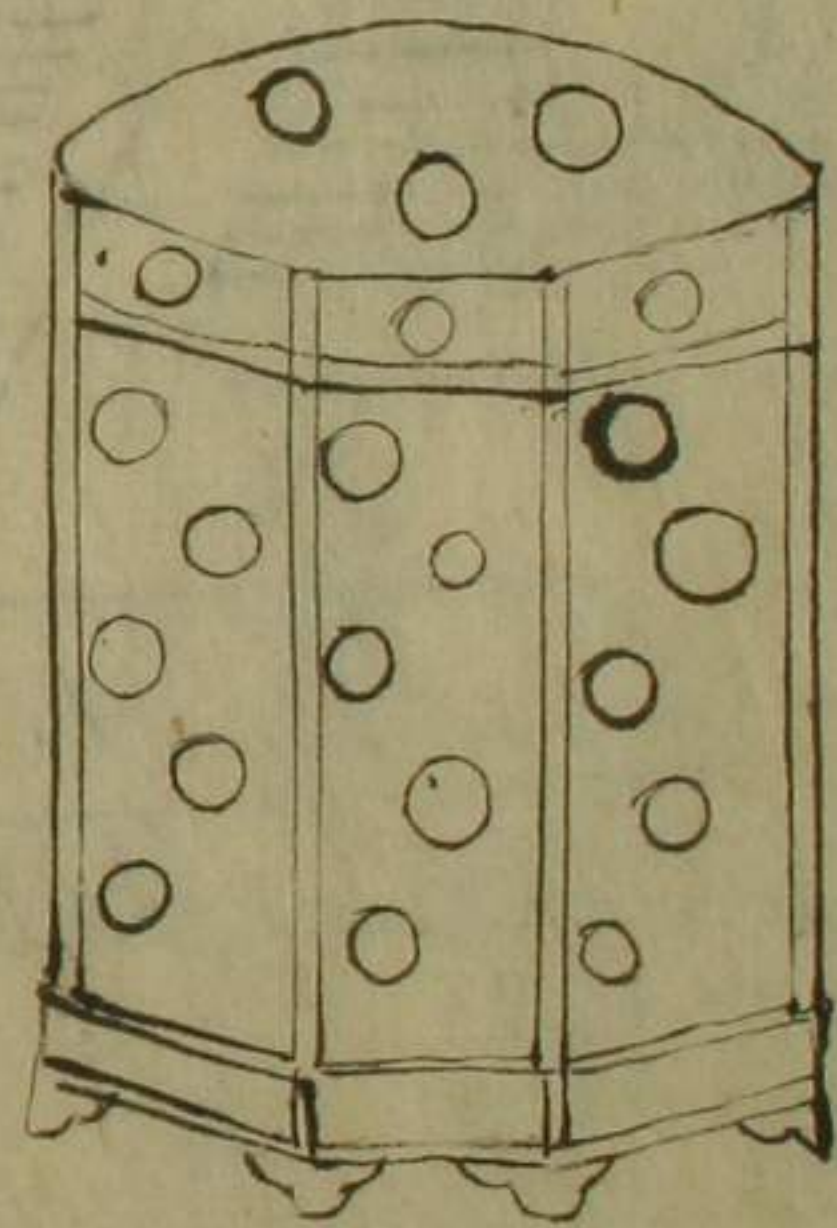
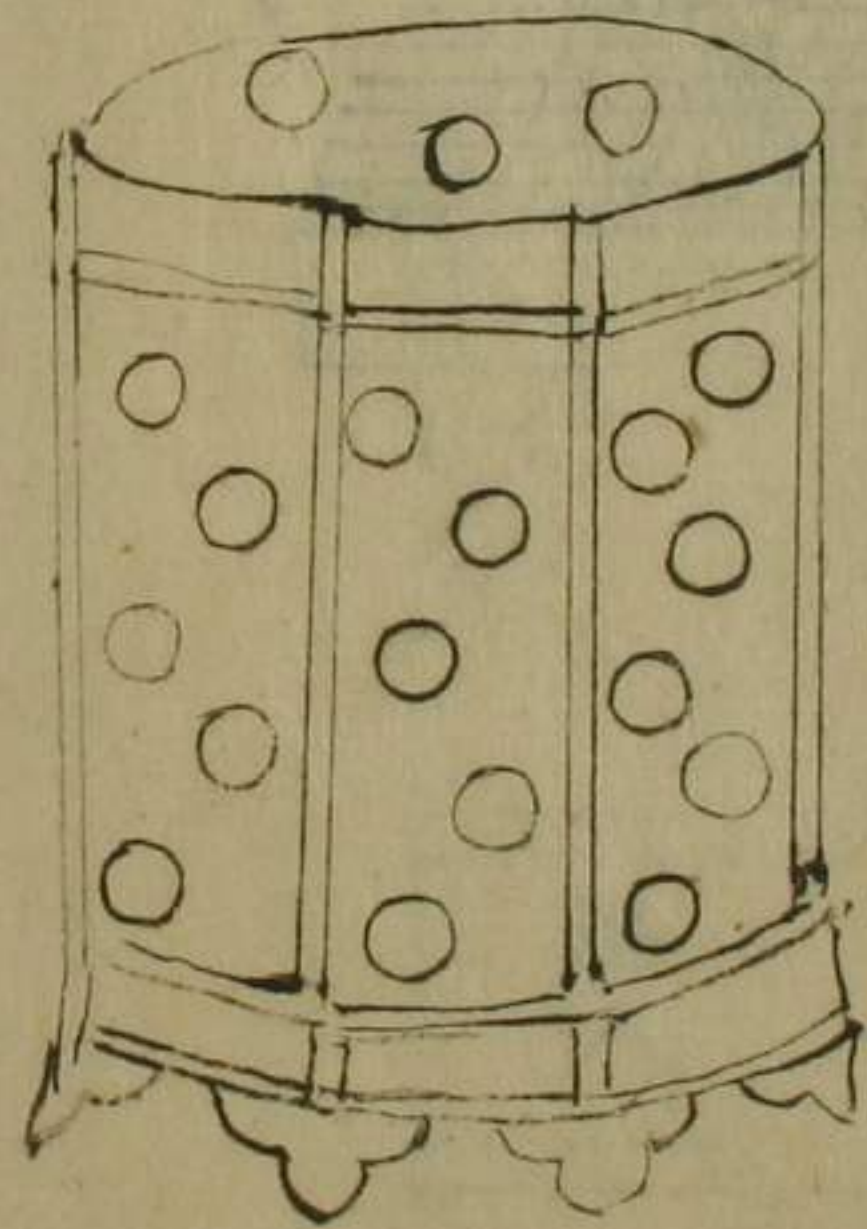


草子箱



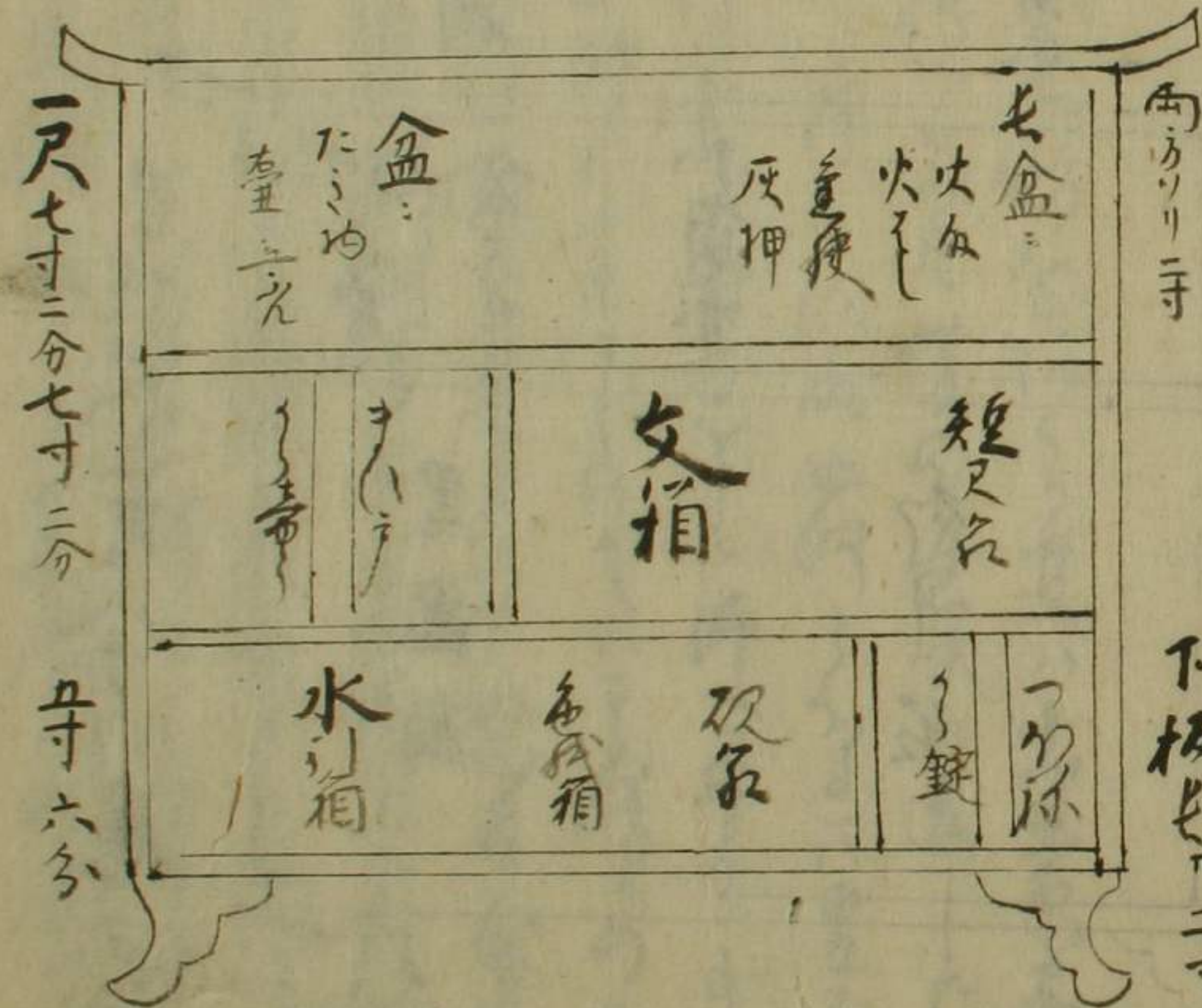
柱大七分四方
高一尺一寸二分
高一寸二分五分

寸法一番、指濟
一尺一寸八分余
惣高一尺一寸九分余
身高九寸九分
蓋高二寸



臺高一寸七分
足高一寸二分
敷八寸右一對
八角又八角

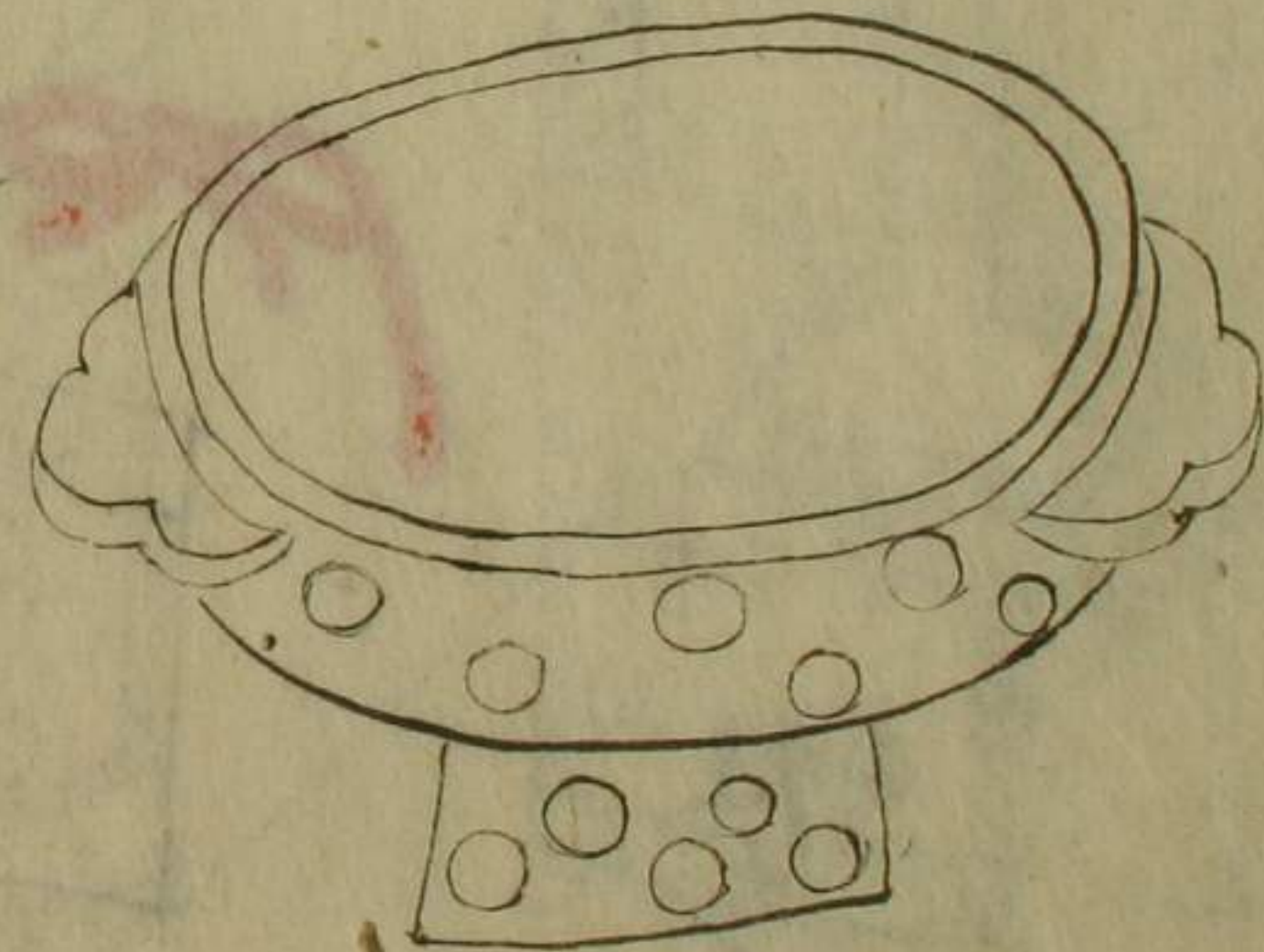
木箱



一 伊勢貞衛の侍ら此より勝り
 下板七寸二分八分 口板厚廿四分

手洗

右より一勝り



下地板二尺八寸口廣廿二尺口厚四分

髪箱

火燭箱
盒の也

黒齒箱

人前
を敷

小角赤

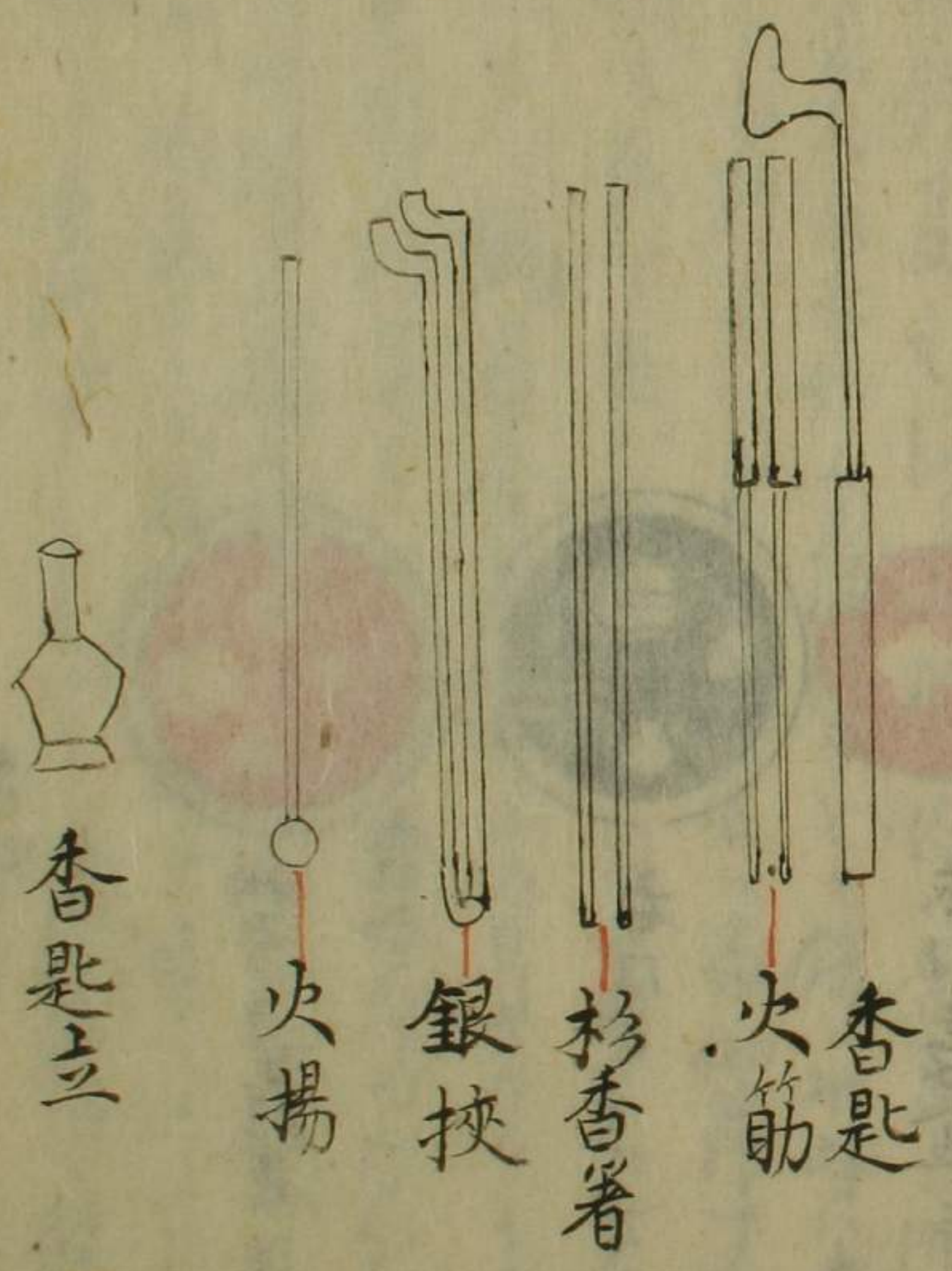
和箱

大角赤

小笠原流御厨子七飾の度

一 御厨子小七飾をいへる度ハ小笠原家の同流たる
 其儀の傳へるが先儀の旨味を遠くたぐりとりて
 事中小教の席とんあやうとては男子といへば未
 練の執行の書の書番といへば師入尋らうといへば
 女といへば師の書うといへば一に飾りの是流といへ
 たりといへば一通といへば是といへば思ふ余の儀と
 下小並曲とよ小傍上より並内と下れ柳の並る者
 此の留と申したく練只の魚子たえは御厨子極を
 黒柳を遊りとてなるとは飾りとてなりぬ
 一 御厨子黒柳飾りの度居るの床の上又床帳乃

香匙 といふは又香匙 之のちうわい香炉と中味の
 向の方小座香合は左香着と右の方横座香合
 香炉之目かくは是ニツ座香の正面向して香合の陰やう
 けのわい深井のちんを正面向して香合の陰やう
 人形屋舩の頭の方ハ壁の方より右の方正面向して
 中々小座香 香匙といふ香と救といふ香とい
 草物ともを救く魚たり介炭押と云火筋とい火
 筋と炭団をいけしるは是ニツ火加減とすり介ハ倍を
 香着と云んはちんをさうり香着と云ハ救ら料ル
 物銀挟とい火着と云んは是ニツ炭探とい火突
 とて炭団といけしるは浅深といはるる
 利



香匙立

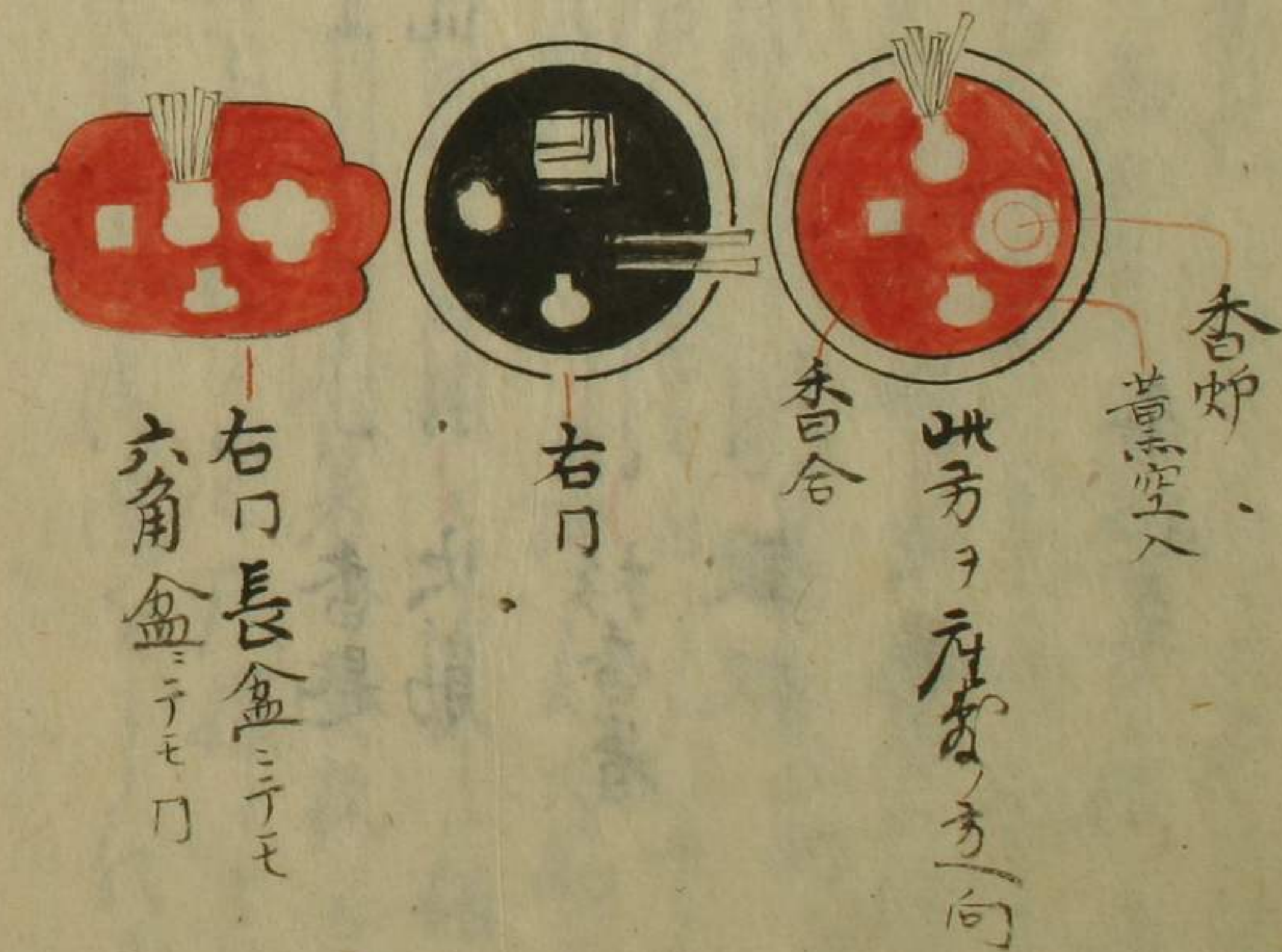
火揚

銀挟

杉香着

香匙
火筋

同様の申刻小沉香箱是ハ行々の番と受けこの小箱
 六三今銘は名番多時ハ清厨子と黒柳と両方
 沉香銘更ハ何ハ世極の内ハ香盆と沉香斗
 又火取番所蓋地は不とも銘ハ世時ハ申刻と
 少刻ハニツ並と火取ハ留加四寸ハた多
 黒柳火取と並ハ極ハ留加魚目用之ハ蓋地臺ハ
 蓋地とハ錫香合ハ小蓋ハの也ハ何ハニツの極ハ
 厨子の内ハ胸の也ハハ厨子のりたのたハの小刻ハ
 七文箱紐尺箱又上の柳の火取蓋地臺ハ
 銘ハ香盆と沉香紐尺箱と銘ハ何ハこの柳ハ
 文箱と色成斗ともハ色成と紐尺と
 尊卑とハハ紐尺ハ七寸と陽とハ上ハ柳ハ銘



色紙の四角をさしきりかくらばるる下の紙と銘こ
をさしきりて銘と短尺と初色紙と次は銘
魚一尺小短尺の御厨子を色紙黒紙に飾り
祝布もいりくくく御厨子道具と貫下
何と致と小短尺と銘と四反目の下の紙の
御厨子の内へ并書手鏡も飾り色紙の内を
飾り若菜の巻を初巻の巻を飾り此巻は賀
けり若菜上下は若菜巻半りもいり御厨子
の脇の紙は水引箱と小刻は銘は水引箱は此
紙は飾り小刻はすこの紙はと並ぶ常のほろ水
引と心は魚も紙の水引は紙と紙は中刻小
飾りは料紙と下小上二反と並ぶ料紙は紙と並

銘より其の料紙の上小文鎮と並ぶ料紙と
書おの紙ととほろ紙とと心は紙は紙は
とと大中小の紙ととと各飾り又四季の若菜紅
葉の若菜飾りもいりもいりもいりもいり
調り後世は飾り拍まては紙と紙は紙は紙は
の具と貫魚上の紙上りもいり

一 同黒紙の度一上の紙の大刻は拂箱と並ぶ紙は
心拂箱は眉作り箱は大角赤紙はさしきりて
とと心は魚一尺の紙の中刻は紙は紙は紙は
髻中の髻ととと飾り同紙の中刻は小角赤中角赤
入るは紙は紙は紙は紙は紙は紙は紙は紙は
左右は紙は紙は紙は紙は紙は紙は紙は紙は

巻の衾又は昆布箱又はやぐざと包て並又は
奇書軸の物ふくも入るをり例布の油の物並
その又ハ魚物包ふもつじく目板の大刻はくも
歯箱中刻は昆布箱は金箱と並は紙
包ら水引ら階らも並こ下の板の大刻は中刻は紙
上は針し小刀又はえんじと並こ中刻はくも
芳中紙はくも馬齒はげく口と成るをえたり
和紙とこ用エ針し小刀は一方はきり一方は又こ文えん
たもしい文鎮のうらりふさごとと並こ

一 二番の御厨子借上は板の大刻小手箱同中刻は
大短尺箱大文箱に短尺は書たりくも並書たり
短尺あり今借上は二の板の大刻は沉箱中刻は炭

團箱と青蓋は小道具と組や借上は板の大刻の厨子
入物の板同前同く板の中刻は水引らと並成る
並下の板の厨子入物は同前同く上は
厨子並書軸の衾ふく入り下は奇書軸の物と入る
くも中刻の板は奇書軸の物上の厨子は並書軸
下の厨子小念こ又守と並書軸の衾は下はくも上は
並書軸の衾と借上は借上はくも中刻はくも
中刻は又書後の板は御厨子黒板借上は上の厨
子は成るも下の厨子小念は蓋目の的は圓んたり
紙と文並目し板の中刻は小料紙は白紅の房はくも
並は白紅の房はくも表金紙内の方銀紙は赤黄
黒紙は板はくも板はくも板はくも

かきの形は、文をききたるひろあしりて、そのと
ひくじく

一 同里極上の中刻、小角赤とありて、箱と
蓋と上を造りて、これ色は紫は漆式、真鍮
村濃の系と紫と云む。一 之はと云、これ色は角
天子の御誓、此系は角は用い、この箱の中刻は白
箱と香盆、小道具、箱、白箱と云、手板のふと
き、小てゆ、合是かけ、此香盆、下、小、下、す、板、成
し、と、り、キ、と、け、り、其、上、は、香、具、と、く、ふ、け、り、物、と
この板の厨子、入地、同系、同板の中刻、黒齒系
流、箱と蓋、下の板の大刻、小料成、此、成、料、成、厨子
小、傍、具、と、云、前、の、と、云、居、り、は、厨子、化、板、の、り、運、板、と

一 から、傍、り、時、に、成、料、成、と、成、御、厨子、と、一、成、傍、り、成、
た、り、成、の、品、型、り、た、り、は、馬、板、の、傍、り、成、り、成、

一 二番の御厨子、上の大刻、は、手箱と蓋、手板と蓋、を
蓋、の、成、り、大、刻、は、白、箱、又、大、刻、は、沉、箱、と、板、の、中、刻、は、
種、尺、箱、を、成、り、箱、と、云、り、は、種、尺、箱、中、小、成、り、成、
し、ん、と、成、り、た、り、と、り、り、二、の、板、の、大、刻、は、大、文、箱、中、
刻、は、沉、箱、香、盆、他、は、は、盆、と、小、道、具、他、は、は、は、
考、好、中、と、成、り、又、盆、は、撥、く、成、り、は、沉、箱、の、中、の、
香、着、火、を、考、色、に、り、成、り、は、この、板、の、中、刻、は、種、尺、箱、
色、成、り、厨子、文、の、成、り、白、系、又、の、と、上、下、は、文、も、
成、り、下、の、板、の、中、刻、は、成、料、成、と、成、り、色、を、て、二、成、り、成、
つ、り、成、り、成、り、又、は、成、り、成、り、成、り、成、り、成、り、成、り、成、り、成、

上ノ料成と置らんを 組付傍りも下ノ柄
柄 柄よりなるまらよるこすへのおく地ノ下ノ柄
たけの傍の取合にたけをく

一 同黒柄上の大刻は小赤角 二の柄中刻は黒蓋
簀箱この柄の刻は 昆布お小刻は山行ねと後
金と角柄も色柄上 一 山行白紅の山行らも
つとよ柄の男の世の力たたも合山行ら
あゝ山口お色も柄く傍り 一 玉の白紅の
常の山行らと二色又山行ら二つある柄の
一 山行らと二色又山行ら二つある柄の
又昆布おと二の柄の大刻は色もこの柄の大刻は
もたれ箱と色も

一 下ノ柄の大刻は和紙上ノ文沉と並又此柄は
乱箱折拂と並又と有り

一 四番御厨子傍り上の大刻は手箱二の柄の大刻は組尺
箱中刻は香盆小道具組尺又盆は草箱火取
香炉組尺傍りこの柄の小刻は沉箱中刻は文基と並
上ノ庫内文沉厨子の中より合上ノ常の取下ノ柄
の中刻は筆基取と料成上ノ文沉を合テ傍り
筆基取と云い取おのくおまを蓋は下山板と
入取をと入具とふり 馬の取付たる也

一 同黒柄上の中刻は大角赤と簀箱おと並大角赤も
化粧具と入たる此傍り例にけりこの柄の中
刻ははる重一對と料成利とあき保と取と並

厨子の中小昆布箱燻子と並下の中刻小燻吐と
据臺と併しゆ入のまご野直多あふり
五番の厨子上の大刻より箱中刻より香盆が本考
炉と盆より並し二の檜の小刻に沉名沉刻道具入
箱蓋の臺より火を扱はる色々の浦張を入るゆこの
檜の中刻より文を大短尺下の大刻より合上
此名合と云え陸奥の擅候に中込候より
すはり候は候中擅候と云文と云くはて人乃
志と通する候より合のちあり此中刻より合口より
銘より此と下の厨子入り候も有り
目黒檜一上の大刻小眉作候二の檜の大刻より昆布
箱中刻より警名と小角赤三の檜の中刻に棉名と黒齒

箱但し棚間詰りて入りぬ上の檜の地と並せり
厨子の内小燻吐と入ると吉又給なるとも入下の
大刻小札取小折拂大小入中刻と後一金ニツ
包て並れ候と上折候と上小文沉と並
六番の御厨子上の大刻小大角赤又小角赤と中
刻小警名箱と黒齒箱二の檜の大刻より香盆中刻
火鋪箱と香の札入り箱と併し二の檜の中刻より
目黒檜と昆布名厨子の中小奇と又筆雁
筆床と併しそあり筆床と筆雁の
筆雁と燻物漆竹をとりて大か燻血の
一下の大刻より紙厨子の中より撥簀と入る候
はけり此耳盤のくは並くす候は本は筆のさ

一 振篋

同黒柳一上の大刻は手箱中刻鏡又箱と色紙はし
二の柳の大刻は弁反中刻大張子一對と況箱と並
弁の反と云ふ弁と草の葉のやうなと書たらと云
又書の反と云ふ幅を多く此内は小紙二ツありてキツ
黒柄錐小刀又二ツの筆と又て文基の上と並
今のぬふ圓はなる弁の反と云ふ大張子の婚後のぬふ
ふ勢ふのうらと云ふと云ふ借書後の鏡と云ふを色し
是と一對鏡と云ふ眉作箱の鏡と云ふ大張子二ツは
眉作の道具二ツは和成墨筆一草紙と云ふを色し
南柳の屋寺と云ふ化り出さぬと云ふ柳の大刻は
紙箱中刻は水引箱据箱と云ふを色紙箱と云ふ中に

引合と云ふ紙は折文と又指系和紙と云ふ況箱の恰
合と云ふ紙は上の上には五紙のしやと云ふと
あり一下の柳の大刻は和紙紙上は文況中刻は文紙と
凡切箱と傍と云ふ柳厨子黒柳佛のぬふと云ふと
黒柳と云ふと云ふ柳厨子柳の中り鏡は四方道具と
柳厨子の石合を並又化粧のりは黒柳中刻は柳厨
子の道具と云ふと云ふを并るまはと云ふと云ふと云
近代の御厨子は黒柳と云ふぬふの時の書据鏡も
このころ所は鏡のりして

一 七番の柳厨子一上の大刻は手箱中刻は大小の文紙
二の柳の大刻は色紙箱中刻は況名種人ぬふの柳の
中刻は希盆蓋の由臺と小盆と云ふのセ一下の中刻は反

引合と水引箱厨子の中小対末と箱文飾りつゝ
 まつと弁かゝりのまゝ弁つゝ下の勺とす
 かゝり上の勺とす

一 同黒棚上の大刻小弁掛り又は鏡臺大角赤眉
 作箱拂箱らし中刻は折拂りわし法二の極の大刻は
 髻箱中刻は極箱小角赤この極の中刻は黒齒箱
 裾箱下の大刻は撞吐中刻は倭子と昆布箱らし
 飾りの上七飾の次舟也此又御厨子のこの極の大
 刻小双科成下小大小の文箱と二ツ並入是極の
 一正小大小角赤二ツこの極は利一下の極は水引
 箱二ツと傍例あり是は室原信別忠次の所息女
 縫頃貞同州康映御輿入のめりや御かし利

何〜のまゝ

御厨子道具

- | | | |
|-------|-----|------|
| 手箱 | 色紙呂 | 大極大箱 |
| 小極大呂 | 火敷箱 | 大文箱 |
| 小文箱 | 水引箱 | 沉箱 |
| 双箱 | 科紙箱 | 科紙 |
| 庫箱 | 文鏡 | 火取考知 |
| 番盆小道具 | 炷柄入 | 薰也入 |
| 五文紙箱 | 番之札 | 哥之双 |
| 扇子箱 | 對末 | ち袋 |

—	—	—	—
手鏡	繪鏡	軸之物	
—	—	—	—
哥書	炭團箱	文臺	
—	—	—	—
封刀	筆濯	筆添	
—	—	—	—
沉割	鴛鴦盒		

右の品は御厨子の具ふと云ふ取之く置合す
 御子と云ふ

黒棚道具

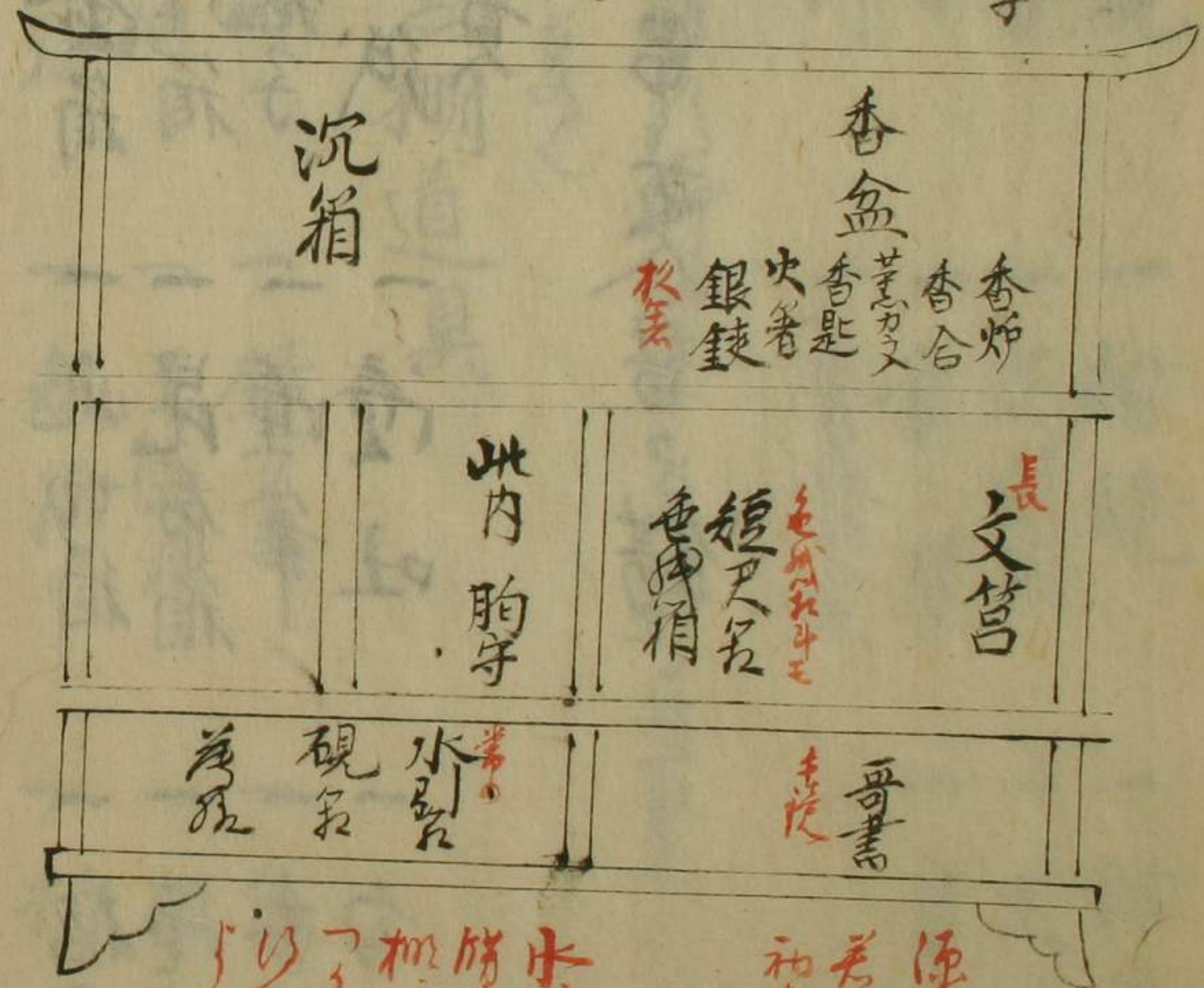
—	—	—	—
拂箱	鏡臺	角赤	
—	—	—	—
髻箱	黒齒箱	棉箱	
—	—	—	—
眉化箱	乱箱	折箱	

—	—	—	—
濟金箱	凡切箱	裾箱	
—	—	—	—
水引箱	昆布箱	淨子	
—	—	—	—
大張子	瀆筆	香炉箱	
—	—	—	—
和々紙	瀆吐	匂箱	
—	—	—	—
枝簀			

右の品は取合替々饒に御

一 香御厨子

手箱

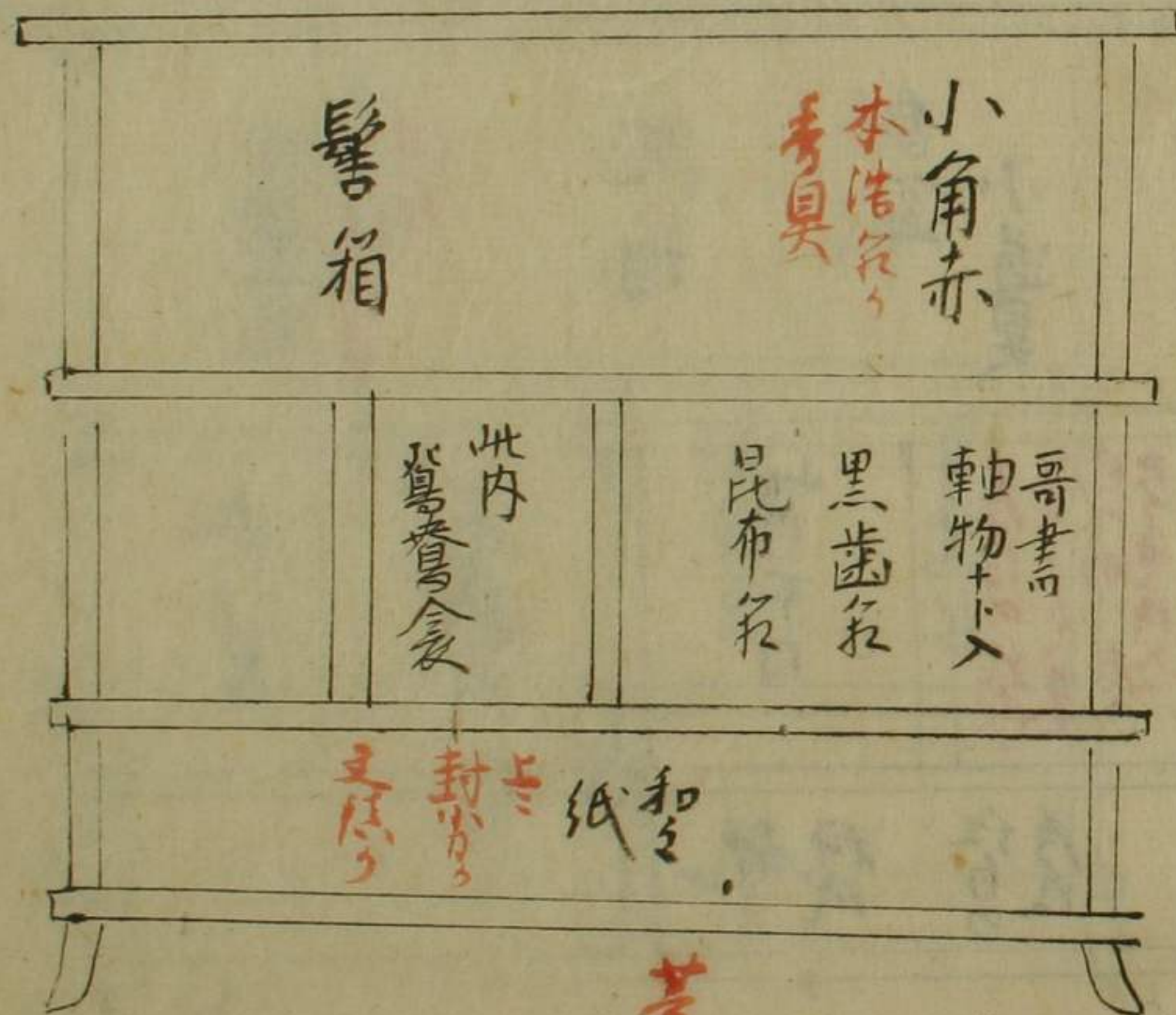


深の内を飾る
若葉の巻
初冬の巻

水引名に此紙
飾るは定三三の
松葉巻の
ついでに
ひしひし

一 同黒棚

拂箱
此棚の深
拂箱の太
角赤
此大さな
お色
心



若葉の巻

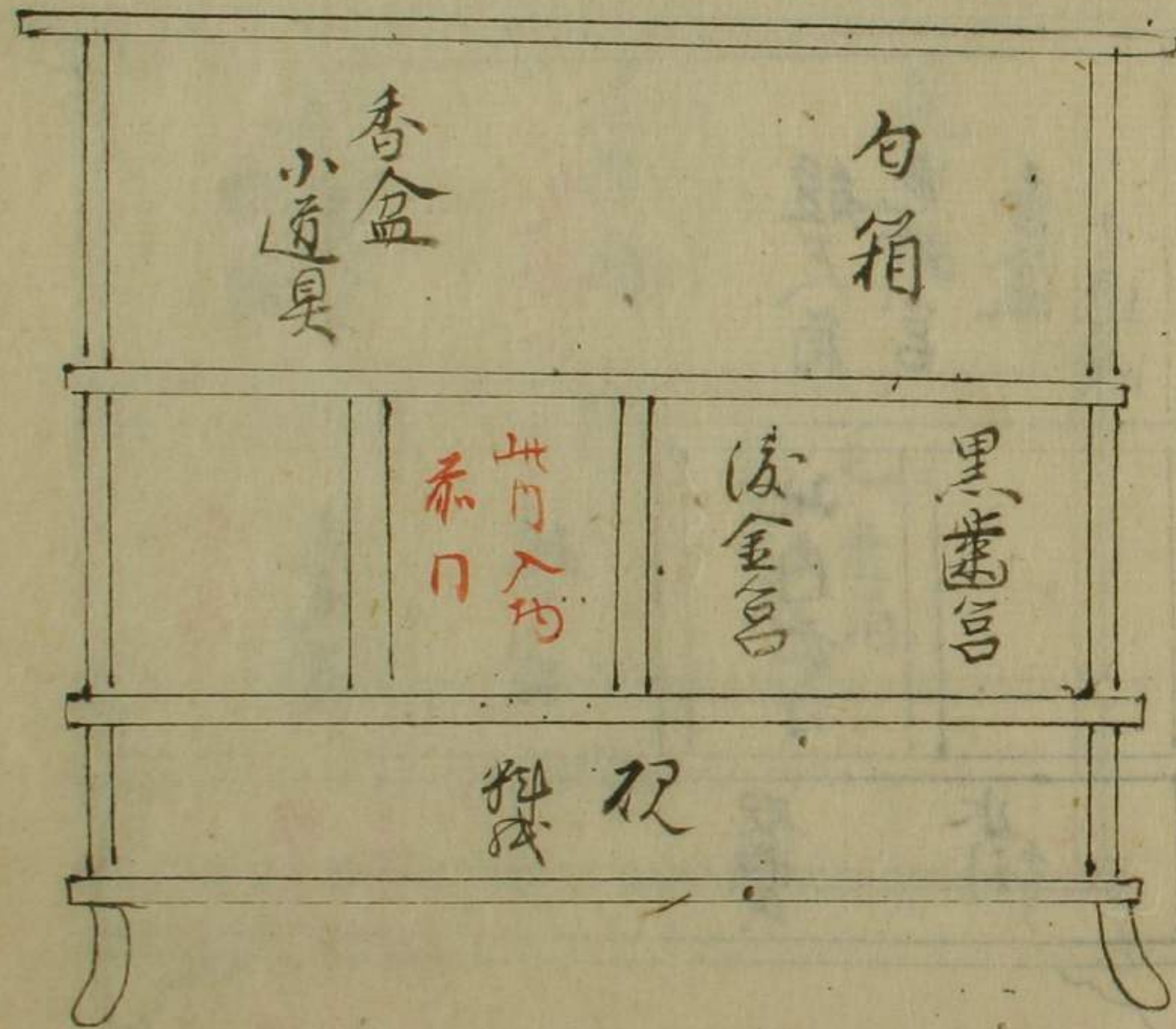
一 同黒棚

借り

髻箱

小角赤
家三毛

小角赤



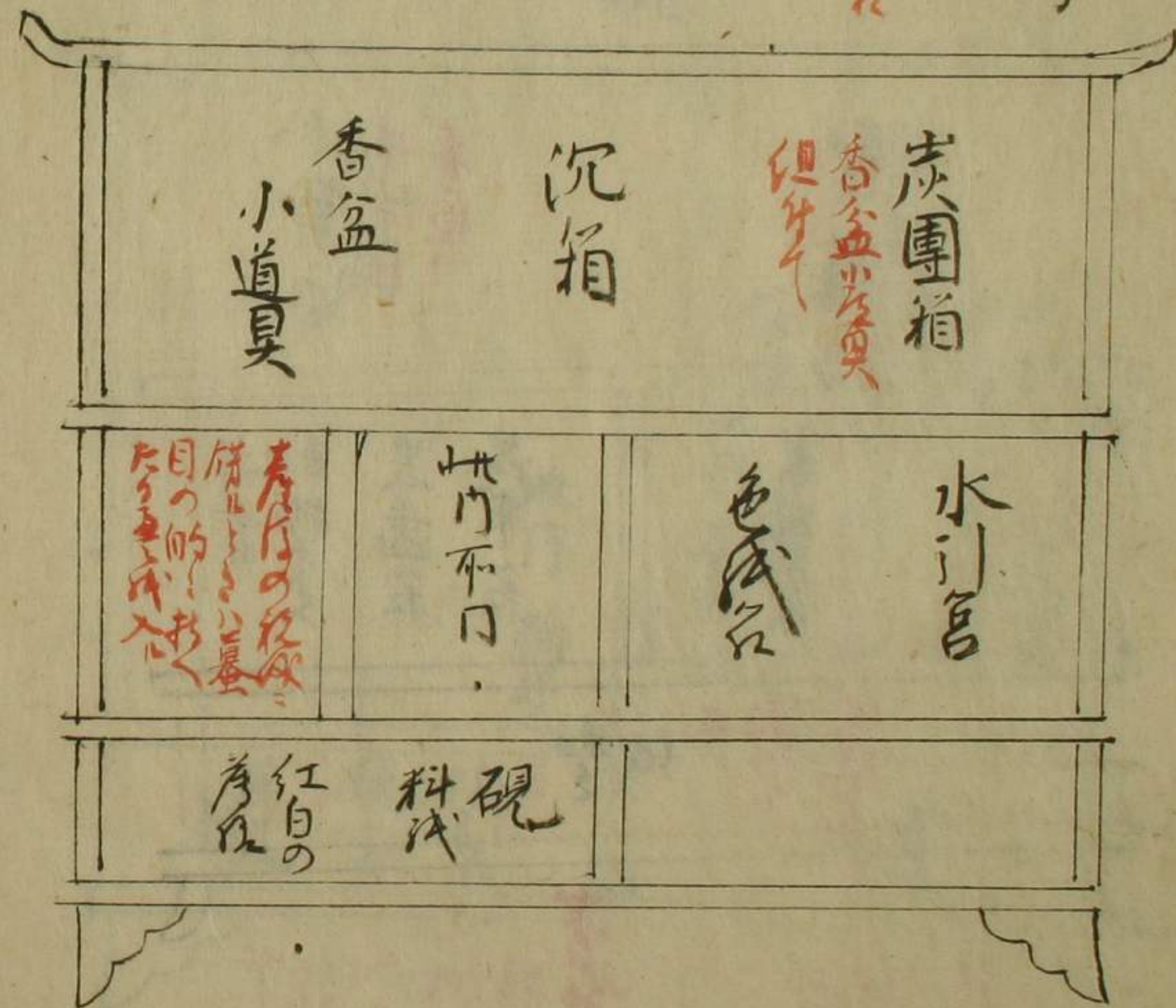
一 二番御厨子

借り

大文箱

手箱

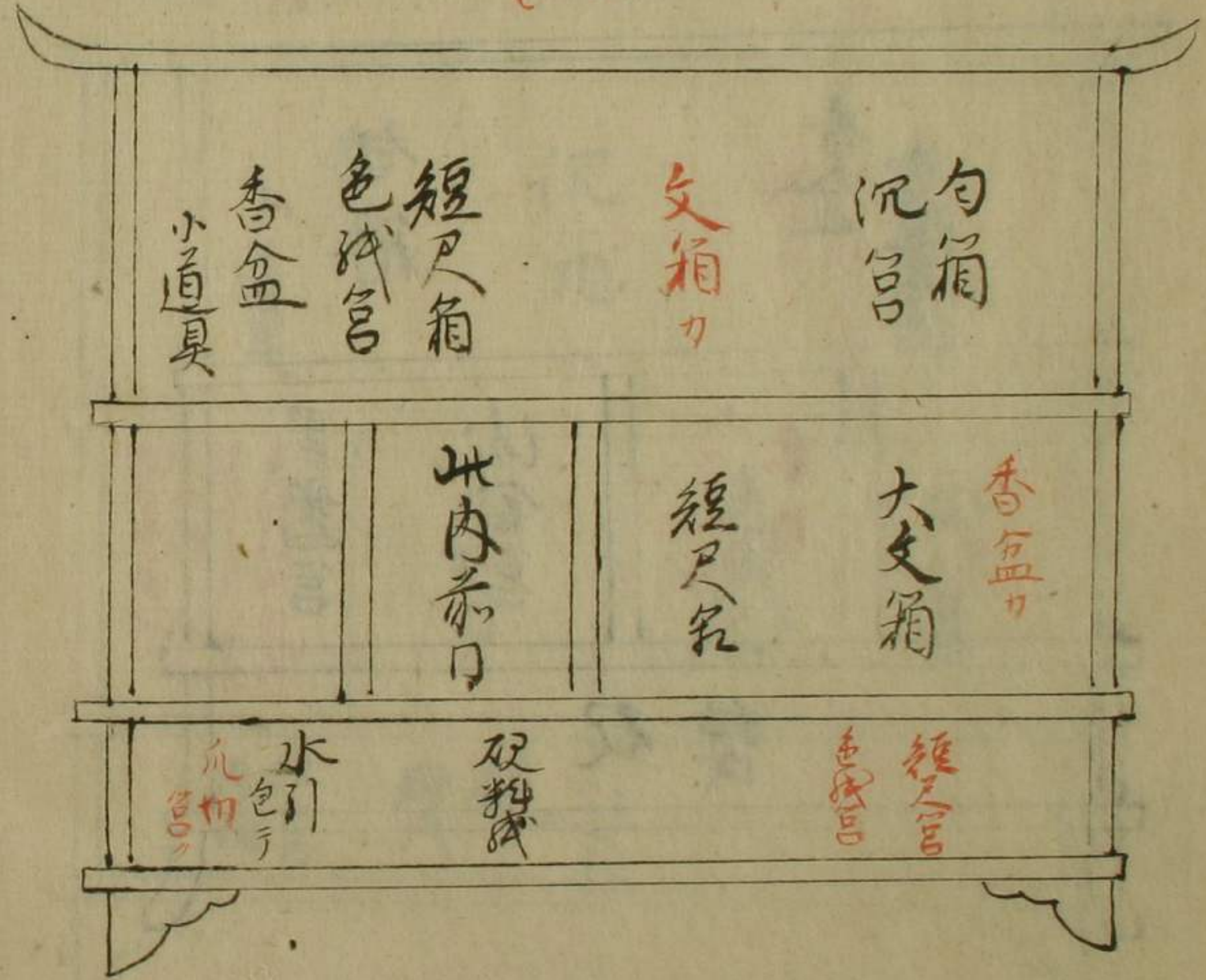
大文箱



一 三番

御厨子
鐸

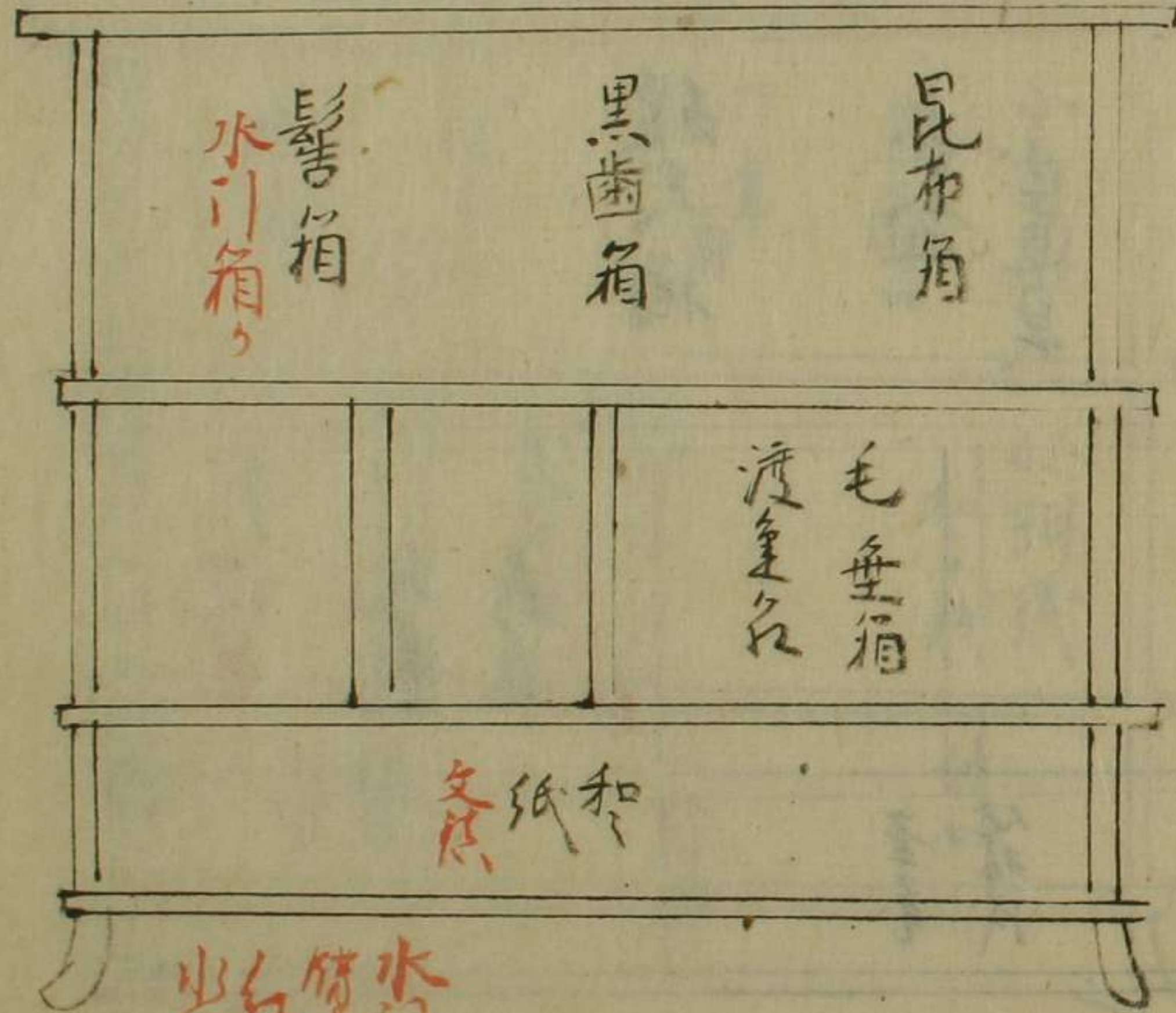
牛箱
白箱



一 同黒棚

鐸

大角赤
小角赤

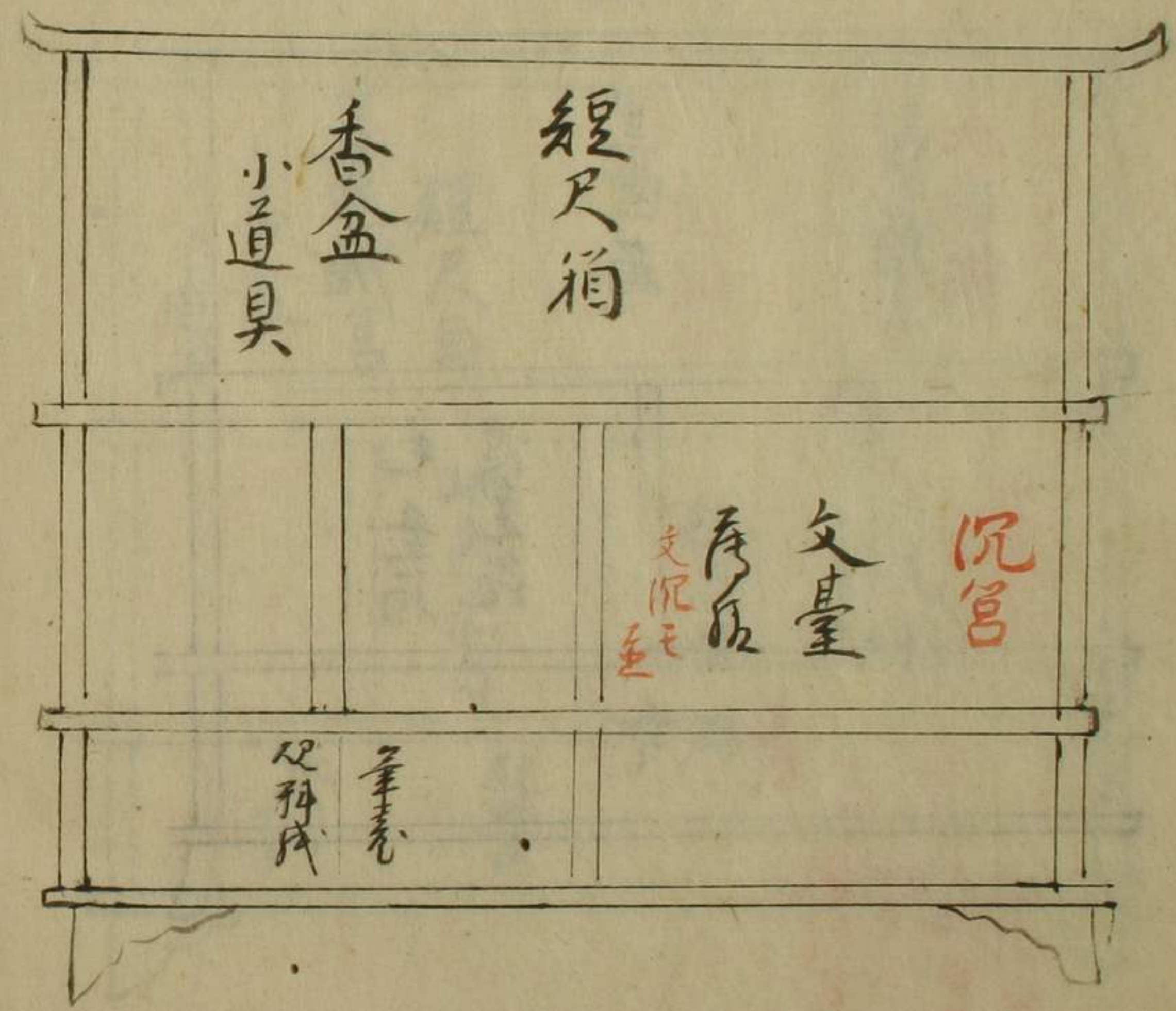


水引箱
紅白二色
出引箱

一 四番

御厨子
傍り

手箱

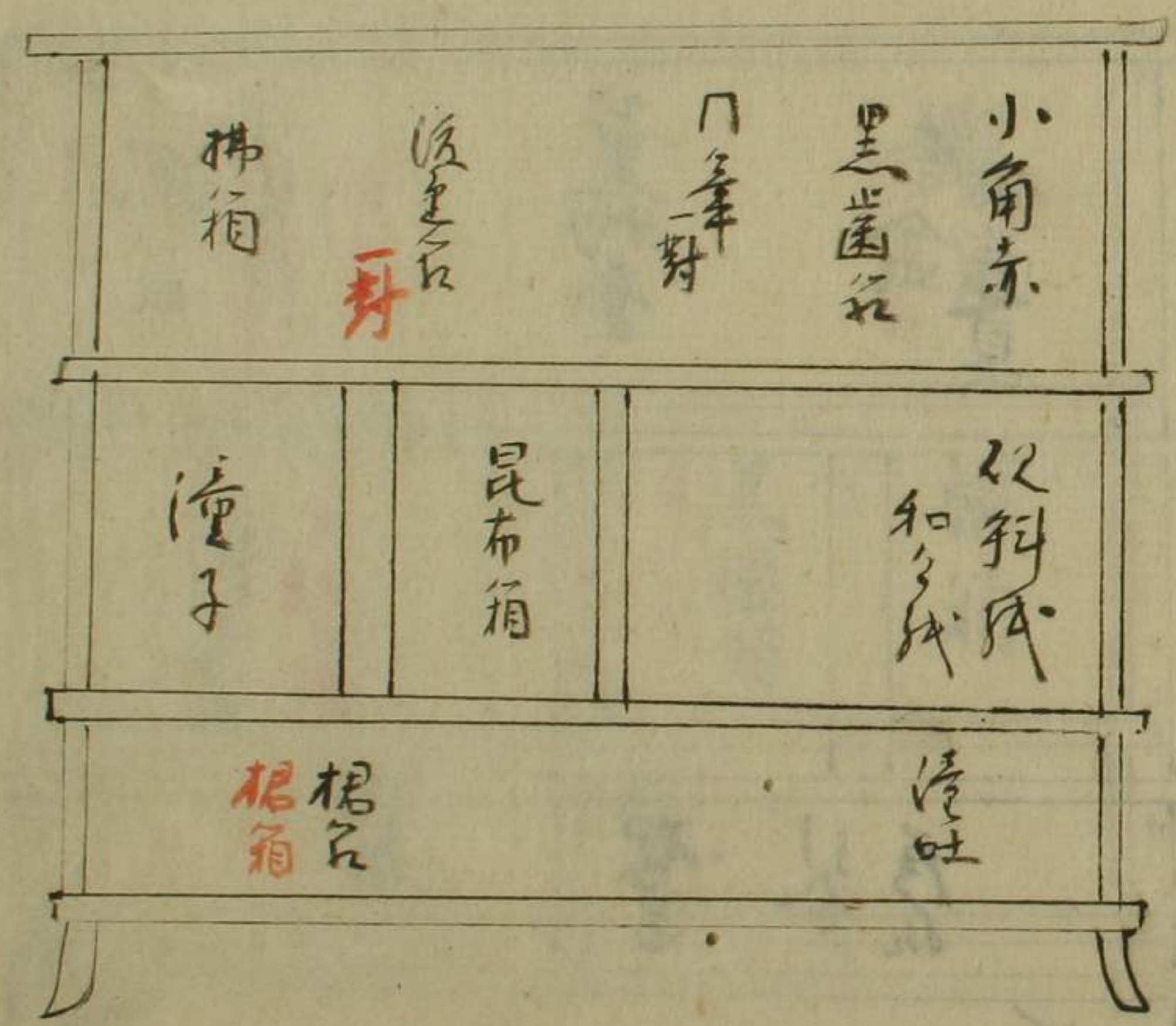


一 黒棚

傍り

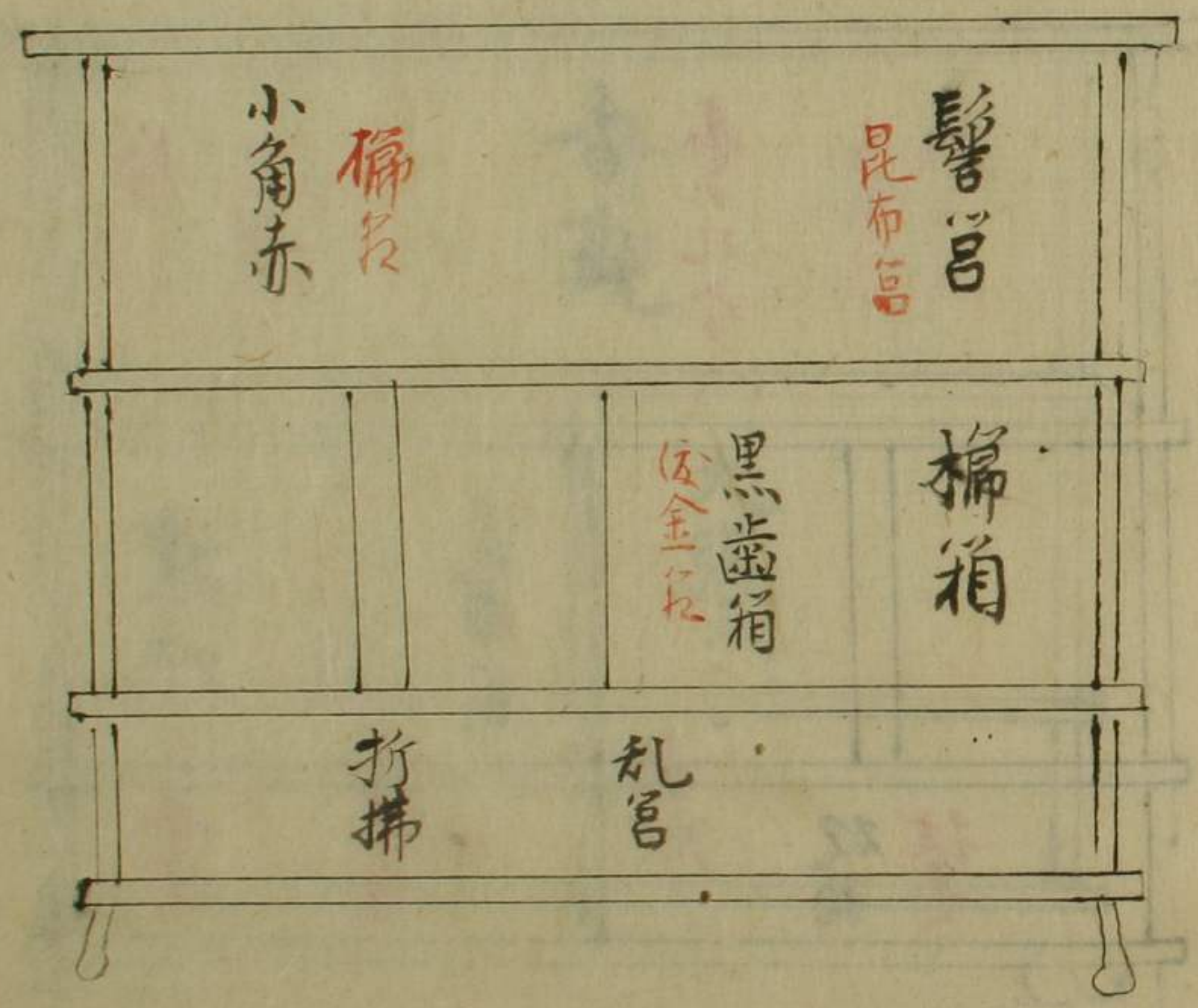
大角赤

警箱



一 同黒棚

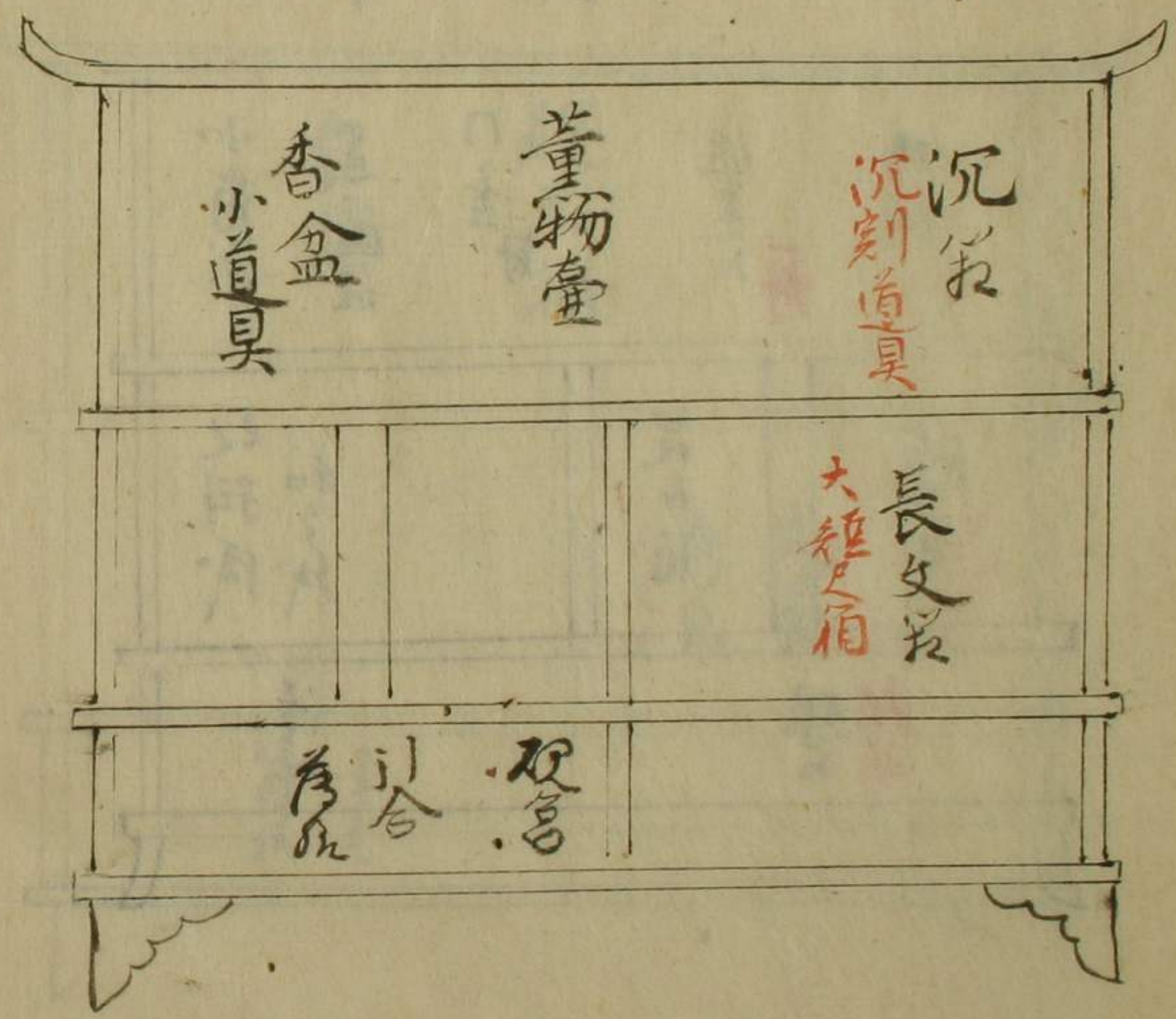
掃箱
眉色宮



一 五番

御厨子
鐙リ

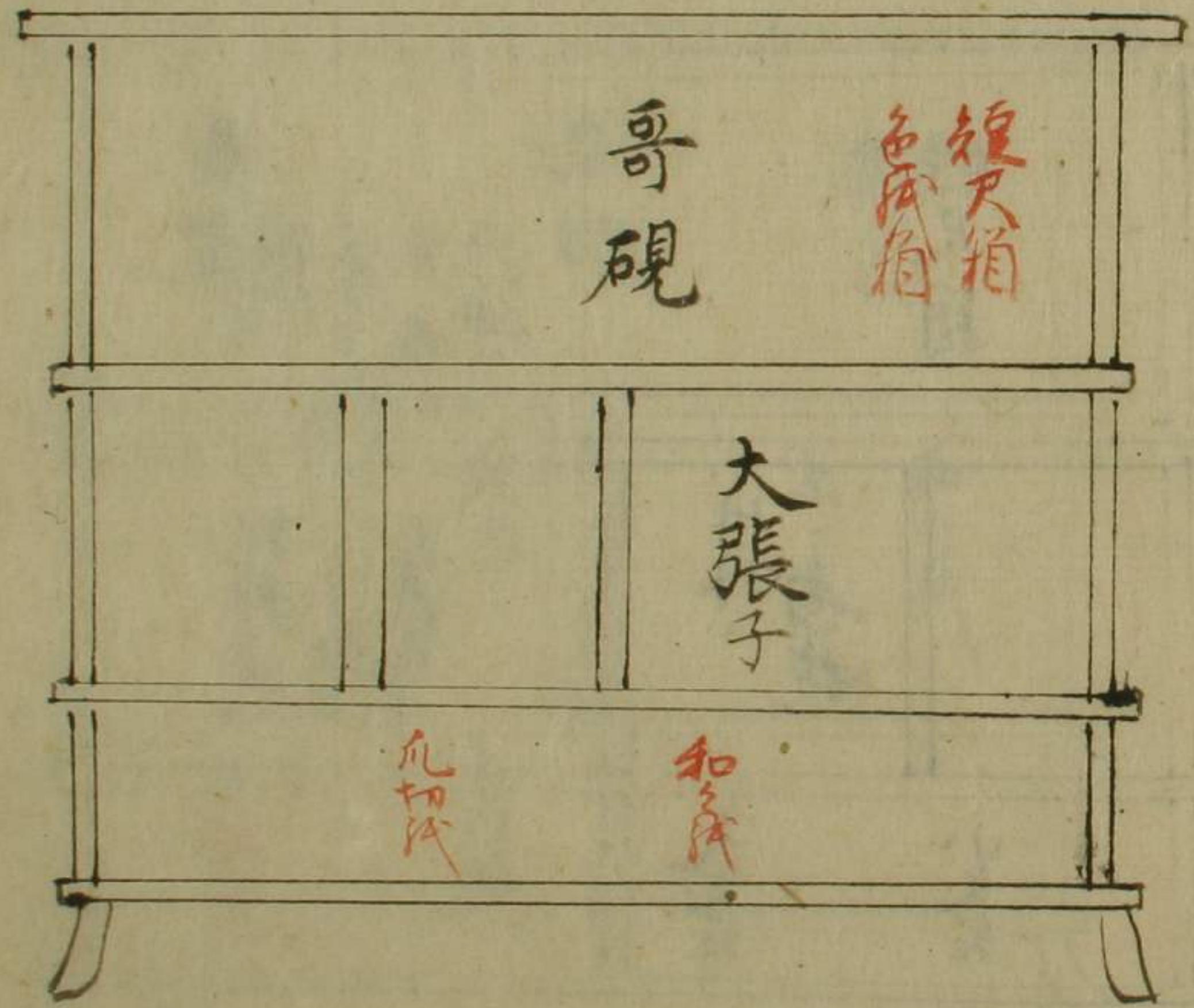
半箱



一 同里棚

錯り

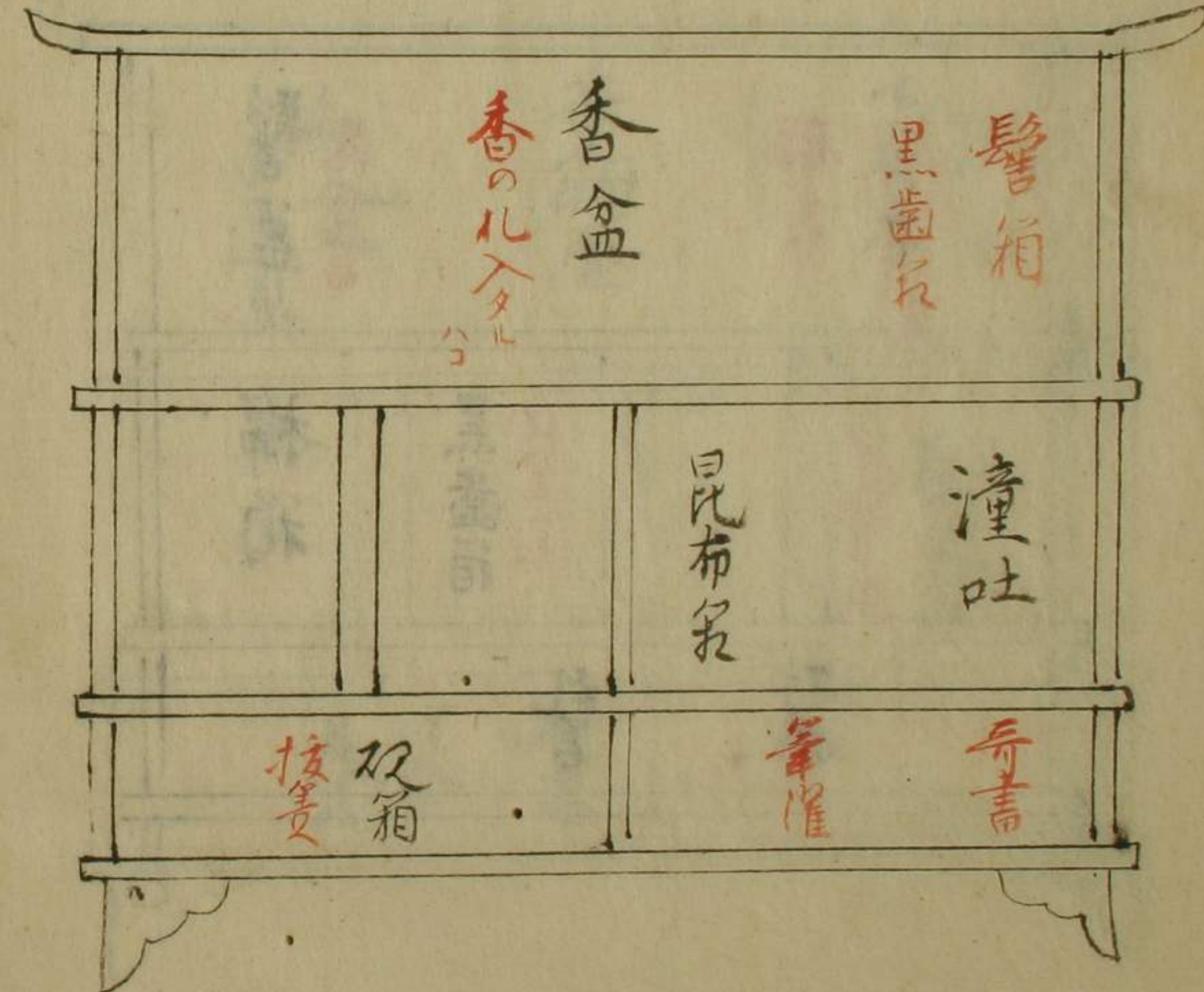
手箱



一 六番

御厨子 錯り

大角赤 又 小角赤

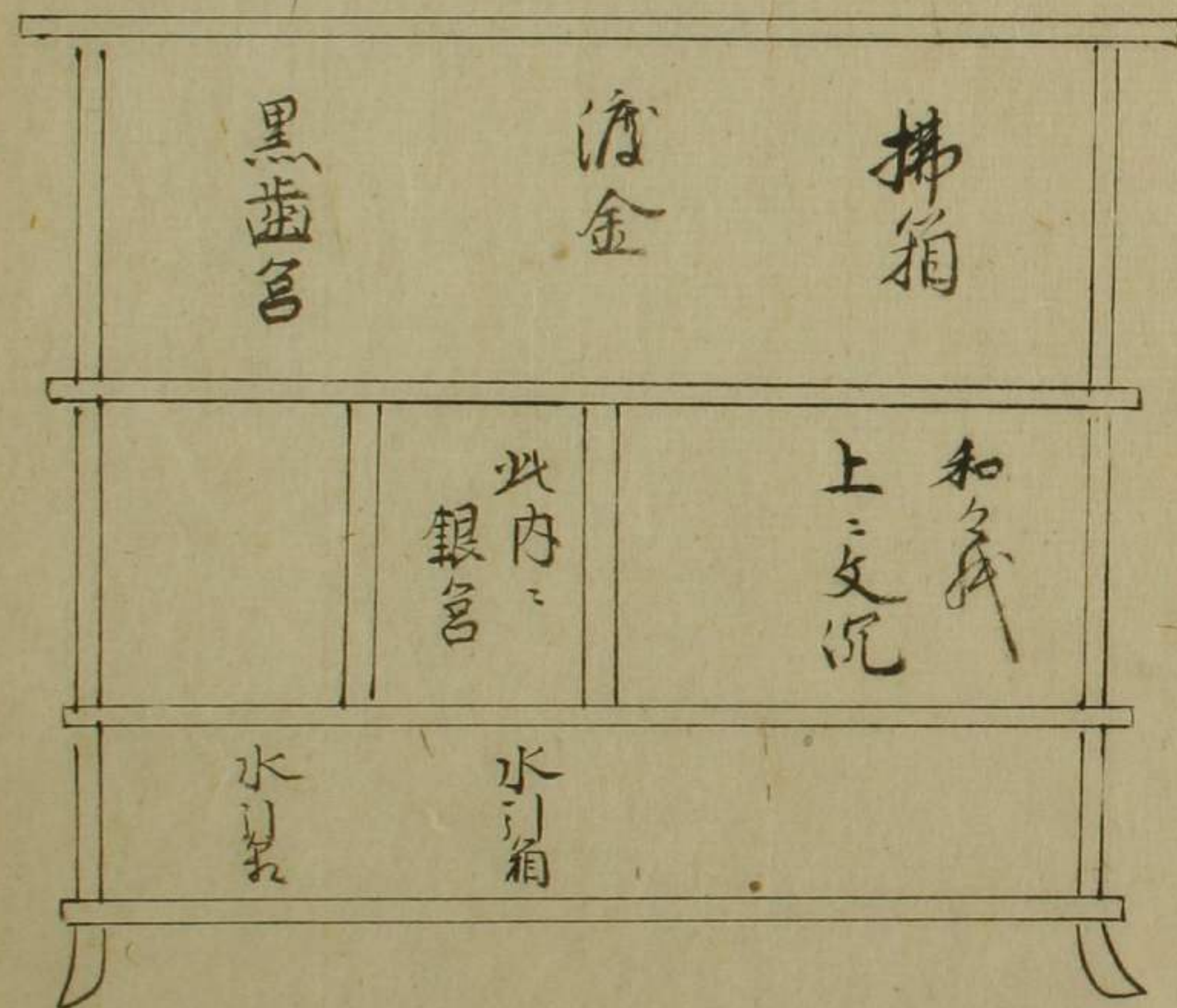


一

同黒棚
鐙

大角
赤

小角
赤



一

七番
御厨子
鐙

手箱

